取扱ガイドについて

■本書の見方

本書では、お車の運転操作や装備の基本的な操作、緊急時に必要な情報や、安全に関する重要な情報を抜粋して説明しています。
詳しい取り扱いについては、日産ホームページに掲載されている取扱説明書をお読みください。

取扱説明書（電子）
https://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/DAYZ_SPECIAL/2608/index.html

スマートフォン、タブレットなどで右側の二次元コードを読み取ると、簡単にアクセスいただけます。

- お車を安全･快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。
- 印刷版の取扱説明書（詳細版）をご希望される方は、日産販売会社にお問い合わせください。
- 本書はお車の中に保管することをおすすめします。

目次

乗りはじめガイド P.3

安全にお使いいただくために P.23

トラブルがおきたときは P.33

重要事項 P.59

メンテナンス P.93

MEMO

乗りはじめガイド

運転席まわり

インストルメントパネル

運転する前に

- インテリジェントキー★ P.6
- ドアハンドルのスイッチ★／バックドアのスイッチ★ P.6
- エンジンスイッチ★／キースイッチ★ P.6
- 前席シート P.7
- ハンドルの調節 P.7
- ドアミラースイッチ P.8
- 自動防眩式ルームミラー P.8

走行中の操作

- セレクトレバー P.9
- オートブレーキホールド★ P.9
- 先進事故自動通報システム★ P.10

視界、空調調整

- ライトスイッチ P.11
- ワイパー P.12
- オートエアコン★ P.12
- ステアリングヒーター★ P.13

走行支援機能

- プロパイロット★の使いかた P.15

メーターの見かた

- イルミネーションコントロールスイッチ P.16
- アドバンスドドライブアシストディスプレイ P.16
- メーター警告灯・表示灯・警告メッセージ P.16

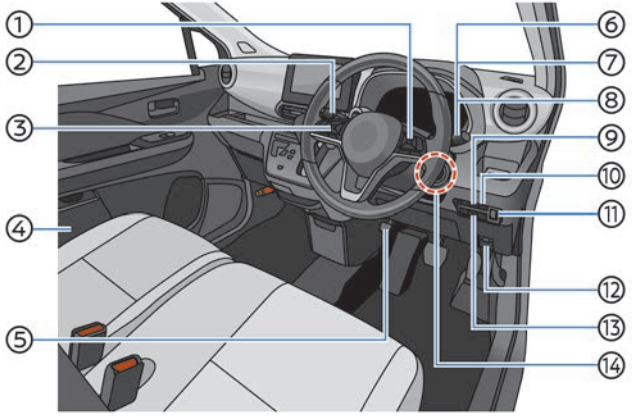
その他装備

- USB電源ポート P.20

駐車する／給油する

- 電動パーキングブレーキ★ P.21
- インテリジェント アラウンドビューモニター★ P.21
- バックドア P.22
- 給油口 P.22

運転席まわり



① ステアリングスイッチ（右）★
- プロパイロット★（P.15）
- オーディオ

② ワイパー・ウォッシャースイッチ（P.12）

③ ステアリングスイッチ（左）
- アドバンスドドライブアシストディスプレイ（P.16）
- オーディオ★

④ 車検証収納ボックス

⑤ パーキングブレーキ★

⑥ ライトスイッチ（P.11）

⑦ 方向指示器スイッチ

⑧ フォグランプスイッチ★

⑨ ステアリングヒータースイッチ★（P.13）

⑩ セーフティ・シールドスイッチ★

⑪ ヘッドランプレベライザースイッチ

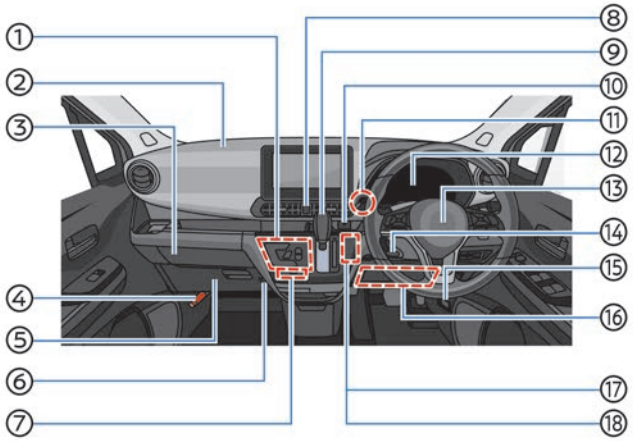
⑫ フューエルフィラーリッドオープナー（P.22）

⑬ アイドリングストップOFFスイッチ

⑭ キースイッチ★（P.6）

※参照ページがない装備については、取扱説明書（電子）をご確認ください。

インストルメントパネル



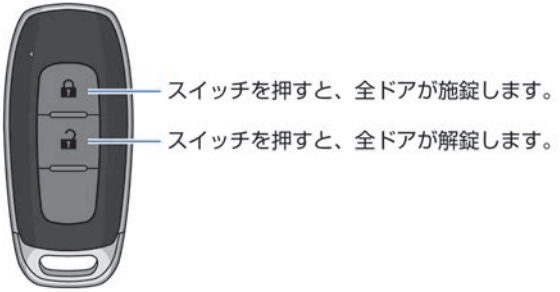
① エアコン（P.12）
- オートエアコン★（P.12）
- マニュアルエアコン★

② 助手席SRSエアバッグシステム
③ インストスライドボックス
④ 発炎筒
⑤ グローブボックス
⑥ 買い物フック
⑦ ヒーターシートスイッチ（前席）★（P.12）
⑧ 非常点滅表示灯スイッチ
⑨ セレクトレバー（P.9）
⑩ USB電源ポート（P.20）
⑪ エンジンスイッチ★（P.6）
⑫ メーター（P.16）
⑬ 運転席SRSエアバッグシステム
⑭ ハンドル位置調節レバー（P.7）
⑮ ボンネットオープナー
⑯ SRSニーエアバッグシステム（運転席）★
⑰ 電動パーキングブレーキスイッチ★（P.21）
⑱ オートブレーキホールドスイッチ★（P.9）

※参照ページがない装備については、取扱説明書（電子）をご確認ください。

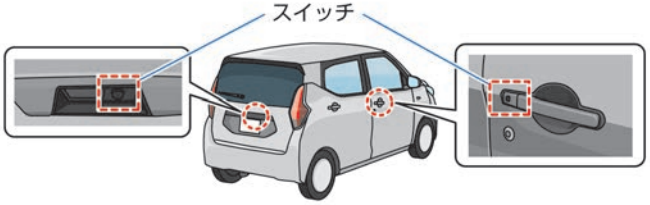
☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備　WEB：取扱説明書（電子）を参照願います

インテリジェントキー★



インテリジェントキーの形状は車両仕様により異なります。

ドアハンドルのスイッチ★／バックドアのスイッチ★



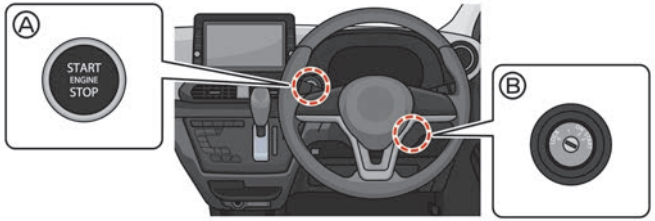
キーを携帯し、運転席、助手席ドアまたはバックドアにあるスイッチを押すと全ドアが施錠・解錠します。

エンジンスイッチ★／キースイッチ★

エンジンスイッチ／キースイッチについて

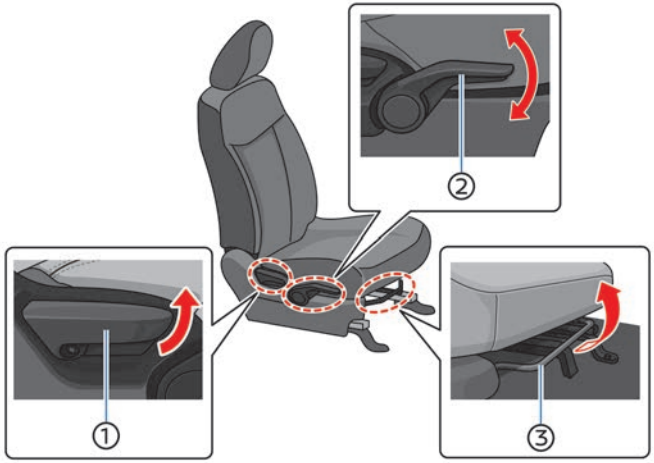
Ⓐ **インテリジェントキー付車**
ブレーキペダルを踏みこんだ状態で＜エンジンスイッチ＞を押すとエンジンがかかります。
再度＜エンジンスイッチ＞を押すとエンジンが停止します。

Ⓑ **リモートコントロールエントリーシステム付車**
ブレーキペダルを踏みこんだ状態でキーを差し込みSTART位置まで回すと、エンジンがかかります。
キーを左に回すと、エンジンが停止します。



前席シート

シート調節



① 背もたれの角度調節（リクライニング）

●レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。

② 上下位置の調節（リフター（運転席））

●レバーを繰り返し操作して調節します。

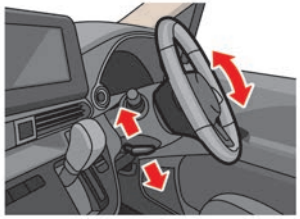
③ 前後位置の調節（スライド）

●レバーを引いたまま、調節したい方向にシートを動かします。

ハンドルの調節

●ハンドル左下のレバーを押し下げ、ハンドルを上下に動かします。

●適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。



ドアミラースイッチ

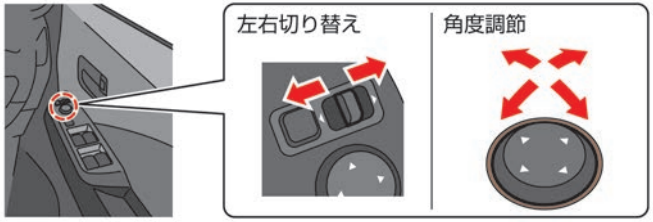
ドアミラーの格納のしかた

●＜ドアミラー格納スイッチ＞を押すと、左右のミラーが格納されます。
●＜ドアミラー格納スイッチ＞をもう一度押すと、元の位置に戻ります。



ドアミラーの角度調節のしかた

●＜左右切り替えスイッチ＞を、調節したいミラーの方に動かします。
●＜角度調節スイッチ＞を前後左右に押して、鏡面角度を調節します。



自動防眩式ルームミラー

●自動防眩式ルームミラーは、後続車両のヘッドランプの明るさに応じて反射率を調整します。
●自動防眩式ルームミラーは、後方が十分確認できるように正しい運転姿勢で座ってから調節します。



インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）付車

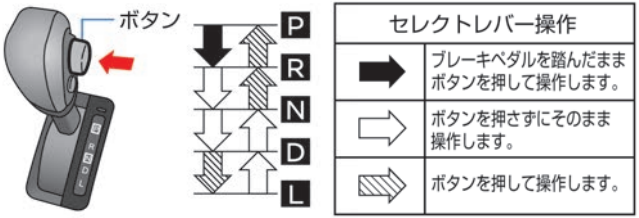
●スイッチを約3秒間押すと、ルームミラーは標準作動状態になります。再びスイッチを約3秒間押すと、自動防眩システムが作動します。

バックビューモニター付車

●スイッチを押すとルームミラーは標準作動状態になります。再びスイッチを押すと、自動防眩システムが作動します。

セレクトレバー

セレクトレバーの使いかた



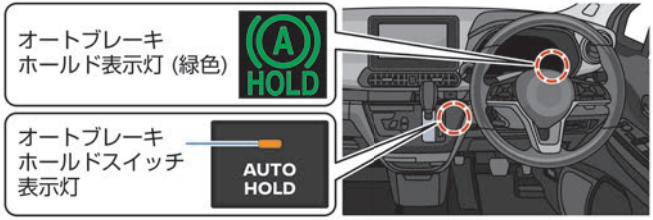
シフトポジション	役割
P	駐車およびエンジンを始動するとき
R	後退するとき
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行するとき
L	下り坂などで、強いエンジンブレーキが必要なとき （急な下り坂以外ではなるべく使用しないでください）

オートブレーキホールド★

オートブレーキホールド機能は、信号待ちなどの停車中にブレーキペダルを踏み続けなくても、ブレーキ力を保持する機能です。

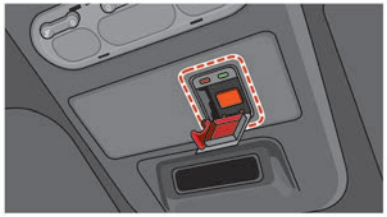
オートブレーキホールド機能のON・OFFのしかた

- 電源ポジションがONのとき<オートブレーキホールドスイッチ>を操作するごとにON・OFFが切り替わります。（ONにすると、スイッチの表示灯が点灯します。）
- 使用できる条件になると、オートブレーキホールド表示灯（白色）が点灯します。
- ブレーキ力が保持されているときは、オートブレーキホールド表示灯（緑色）が点灯します。



先進事故自動通報システム★

＜SOSコールスイッチ＞を押すことで SOSコールを開始できます。また、事故発生時（エアバッグ展開時）には自動で SOSコールを開始します。

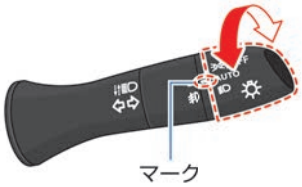


ライトスイッチ

ランプの点灯・消灯

スイッチを回してスイッチ位置をマークに合わせます。通常時は＜AUTO＞の位置で使用してください。

ライトの点灯・消灯状態は、ライトスイッチを操作したときにメーターに表示されるガイダンスとメーター内の表示灯で確認してください。



スイッチ位置	点灯するランプ
＜ ≣D ＞	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。
＜AUTO＞	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
＜ ≣D /OFF＞ （＜ ≣D /OFF＞の位置にしても手を離すと自動で＜AUTO＞の位置に戻ります。）	**ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯しているとき** 停車時に＜ ≣D /OFF＞の位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ヘッドランプが自動点灯します。 **ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が消灯しているとき** ＜ ≣D /OFF＞位置に回して保持すると、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。 **車幅灯、尾灯、番号灯が点灯しているとき** 停車して、ヘッドランプ消灯時にセレクトレバーがPのときまたはパーキングブレーキが作動しているとき＜ ≣D /OFF＞の位置に回して保持すると、全ランプが消灯します。走行を開始すると周囲の明るさに応じて、ランプが自動点灯します。

アドバンスドドライブアシストディスプレイで、オートライトの感度調整ができます。詳細は取扱説明書（電子）をお読みください。

ワイパー

フロントワイパー



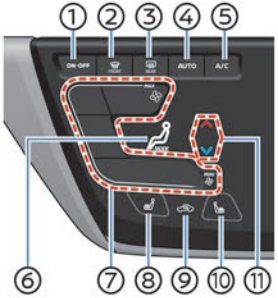
スイッチ位置	作動
＜ ＞	スイッチを上げている間作動 手を離すとOFF
＜OFF＞	停止
＜ ＞	間けつ作動（スイッチを回して作動間隔の長い、短いを調節）
＜ ＞	低速連続作動
＜ ＞	高速連続作動

●スイッチを手前に引くとフロントウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

●スイッチを車両前方に押すとリヤウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

オートエアコン★

各スイッチの名称と機能



① ON・OFFスイッチ
オートエアコンシステムのON・OFFを切り替えます。

② デフロスタースイッチ
フロントガラスのくもりが取れます。

③ リヤウインドーデフォッガースイッチ
バックドアガラスのくもりが取れます。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し、霜やくもりが取れます。

④ AUTO スイッチ
自動制御に切り替えます。

⑤ A/Cスイッチ
冷房・除湿機能のON・OFFを切り替えます。

⑥ 吹き出し口切り替えスイッチ
吹き出し口を切り替えます。

⑦ 風量調節スイッチ
風量が切り替わります。

⑧ 助手席ヒーターシートスイッチ★
助手席ヒーターシートのON・OFFを切り替えます。

⑨ 内外気切り替えスイッチ
スイッチをタッチするごとに、内気循環、外気導入が切り替わります。

⑩ 運転席ヒーターシートスイッチ★
運転席ヒーターシートのON・OFFを切り替えます。

⑪ 温度調節スイッチ
設定温度が切り替わります。

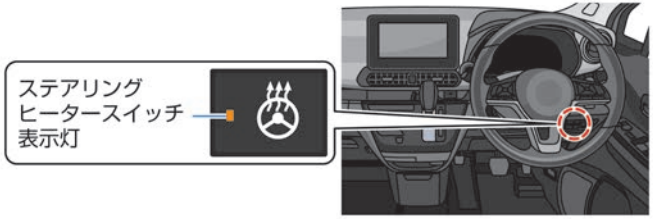
タッチスイッチの感度を調整することができます。
詳細は取扱説明書（電子）をお読みください。

ステアリングヒーター★

ハンドルのグリップ部分を温かく保ちます。

ステアリングヒーターの使いかた

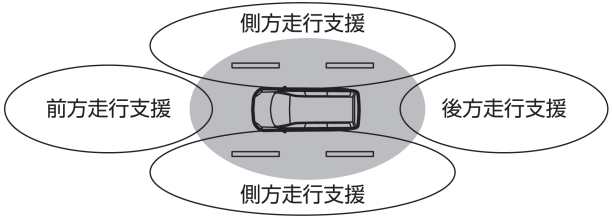
スイッチを押すと作動します。（スイッチの表示灯が点灯）



走行支援機能

⚠ 注意

- 走行支援機能は運転者の安全運転を補助するものであり、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転者はシステムに頼った運転をせず、周囲の状況に注意して常に安全運転を心がけてください。
- 重要な警告・注意事項がありますので、ご使用の前には必ず取扱説明書（電子）をお読みください。



範囲	機能名	機能	支援内容
前方 側方	プロパイロット★	前方車両との車間距離を制御し、前方車両停車時は停車してその状態を保持します。また、走行車線内を走行するようにハンドルを制御することで運転操作の負担を減らします。	支援
前方	インテリジェントエマージェンシーブレーキ	前方の車両や歩行者、自転車と衝突のおそれがあるとき、警報とブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。	支援
前方 後方	踏み間違い衝突防止アシスト	ブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違えや、ブレーキ操作遅れが起きたときに警報音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。	支援
前方	インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）	前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合に警報します。	警報
	標識検知機能	運転者に進入禁止標識、一時停止標識、および最高速度標識があることを知らせます。	
	先行車発進お知らせ	先行車が発進しても自車が停止し続けた場合に、音と表示でお知らせする機能です。	

走行支援機能

範囲	機能名	機能	支援内容
側方	インテリジェントLI（車線逸脱防止支援システム）	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、車線内に戻す操作を支援します。	支援
	LDW（車線逸脱警報）	運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報します。	警報
	インテリジェントDA（ふらつき警報）	ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、警報音と表示により運転者に休憩を促します。	
	BSW（後側方車両検知警報）★	車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。	
後方	RCTA（後退時車両検知警報）★	後退時に、後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報によって注意を促します。	警報

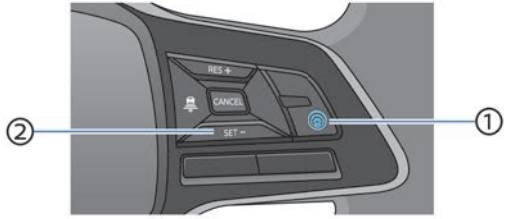
プロパイロット★の使いかた

1. ＜プロパイロットスイッチ＞①を押します。

● プロパイロットがONになります。

● アドバンスドドライブアシストディスプレイにプロパイロットの状態が表示されます。

2. ＜SET-＞スイッチ②を押したときの車速でプロパイロットを開始します。



イルミネーションコントロールスイッチ

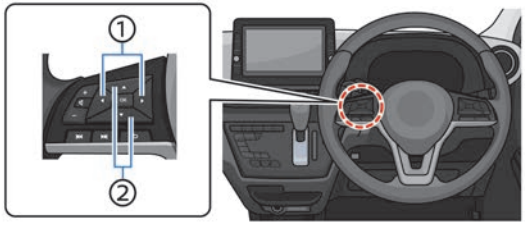
<キースイッチ>（電源ポジション）がONのとき、メーター右下のスイッチをまわしてメーター照明の明るさを調節できます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

ディスプレイの切り替えかた（メインメニュー）

ステアリングスイッチでメーター内の画面表示が切り替わります。

- ①を押すと「項目」が切り替わります。
- ②を押すと各項目の表示メニューが選択できます。



ステアリングスイッチは車両仕様により異なります。

各種設定のしかた

各種設定画面から、運転支援システムのON・OFF設定やソナー検知距離の設定などができます。

メーター警告灯・表示灯・警告メッセージ

警告灯・表示灯

警告灯が点灯または点滅し続けたときは、取扱説明書（電子）の「警告灯がついたときは」を確認のうえ、「説明・対処方法」に従ってください。あわせて、日産販売会社にご相談ください。次の表は代表例です。

	**SRS エアバッグ警告灯** ● <キースイッチ>（電源ポジション）が ON のとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると点灯を続けます。
	**油圧警告灯** ● エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。
	**充電警告灯（赤色表示）** ● エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。
	**ブレーキ警告灯（赤色表示）** ● <キースイッチ>（電源ポジション）が ON のとき、次の場合は点灯し続けます。 — パーキングブレーキをかけているとき（電動パーキングブレーキ無車） — ブレーキ液が不足しているとき — ブレーキシステムに異常があるとき
	**電動パーキングブレーキ警告灯★** ● 電源ポジションが ON のとき、電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。
	**シートベルト警告灯** ● <キースイッチ>（電源ポジション）が ON のとき、乗員がシートベルトを着用していないと点灯します。
	**マスターウォーニング** ● メーターに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。

	**VDC 警告灯** ● <キースイッチ>（電源ポジション）が ON のとき、VDCが作動すると点滅します。 ● <キースイッチ>（電源ポジション）がONのとき、VDC、ヒルスタートアシストの電子制御システムに異常があると点灯し続けます。
	**故障警告灯（MIL）** ● エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。
	**充電システム警告灯（黄色表示）** ● <キースイッチ>（電源ポジション）がONのとき、リチウムイオンバッテリー（サブ）に異常があると点灯します。
	**VDC OFF 表示灯** ● <キースイッチ>（電源ポジション）が ON のとき、VDCをOFFにすると点灯します。
	**ABS 警告灯** ● <キースイッチ>（電源ポジション）が ON のとき、ABS のシステムに異常があると点灯します。
	**ブレーキシステム警告灯（黄色）★** ● 走行中に点灯し続けたときは、電動パーキングブレーキ機能が故障しているおそれがあります。
	**EPS（電動パワーステアリング）警告灯** ● エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。
	**燃料残量警告灯** ● <キースイッチ>（電源ポジション）がONのとき、燃料の残量が少ないと点灯します。

	**インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯** ● インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、踏み間違い衝突防止アシストまたは駐車支援機能（フロントセンターソナー、フロントコーナーソナー、リヤセンターソナー、リヤコーナーソナー）のシステムに異常が発生しているときに点灯します。
	**方向指示表示灯** ● 非常点滅表示灯を作動させると左右同時に点滅します。 ● <キースイッチ>（電源ポジション）が ON のとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。
	**ハイビームアシスト表示灯★** ● ハイビームアシストシステムをONにすると点灯します。
	**テールランプ表示灯** ● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。
	**フォグランプ表示灯★** ● フォグランプを点灯させると点灯します。
	**オートブレーキホールド表示灯（緑色）★** ● オートブレーキホールド機能が作動しているとき緑色に点灯します。
	**SPORT表示灯** ● キースイッチ（電源ポジション）がONでセレクトレバーがDのとき、スポーツモードをONにすると点灯します。

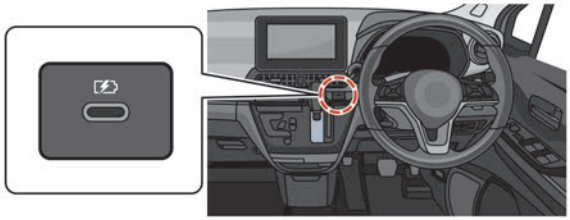
	**アイドリングストップ表示灯** ● アイドリングストップ中に点灯します。 ● アイドリングストップ中に、ボンネットが開いたときに、速く点滅します。 ● アイドリングストップに異常があると遅く点滅します。
	**低水温表示灯（緑色表示）** ● エンジン冷却水温が低いと点灯します。
	**ヘッドランプ上向き表示灯** ● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。
	**オートブレーキホールド表示灯（白色）★** ● オートブレーキホールド機能が待機状態のとき白色に点灯します。

警告メッセージが表示されたとき

メーター内のディスプレイに警告メッセージが表示されたときは、取扱説明書（電子）の「警告メッセージが表示されたときは」を確認のうえ、「説明・対処方法」に従ってください。あわせて、日産販売会社にご相談ください。
次の表示は代表例です。

画面表示	名称	表示する条件
キーシステム故障 取扱説明書を見てください	キーシステム警告	● ハンドルロック（ステアリングロック）やキーシステムに異常があると表示します。
エンジン高温 取扱説明書を見てください	エンジン異常警告	● 走行中、エンジンの温度が異常に高くなると表示します。
CVT高温 取扱説明書を見てください	CVT高油温警告	● CVTフルードの温度が異常に高くなると表示します。
シャシー制御 システム故障 取扱説明書を見てください	シャシー制御表示	● シャシー制御のシステムに異常があると表示します。
ヘッドランプシステム異常 取扱説明書を見てください	ヘッドランプ警告	● LED ヘッドランプに異常があると表示します。
ソナー故障 取扱説明書を見てください	ソナーシステム異常警告	● ソナーが故障したときに表示します。

USB電源ポート



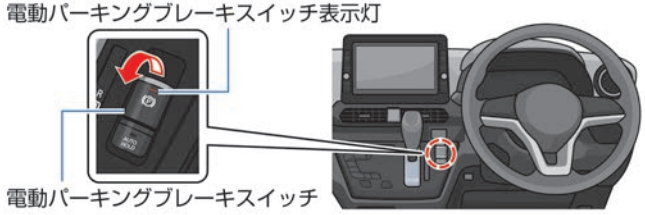
インストルメントパネルに充電用USB電源ポートがあります。

電動パーキングブレーキ★

スイッチ操作で、電動パーキングブレーキをかけることができます。

電動パーキングブレーキの使いかた

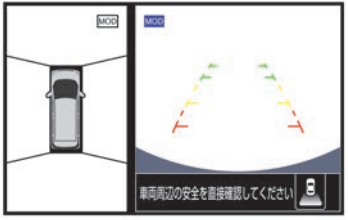
- ブレーキペダルをしっかり踏んでスイッチを操作します。
- 作動させるとき：スイッチを引きます。
  ＜電動パーキングブレーキスイッチ＞表示灯：点灯
  電動パーキングブレーキ警告灯：一定時間後に点灯
- 解除するとき：スイッチを押します。
  ＜電動パーキングブレーキスイッチ＞表示灯：消灯
  電動パーキングブレーキ警告灯：消灯



- 電動パーキングブレーキがかかっている状態で運転席シートベルトを着用し、セレクトレバーを**D**または**R**のときにアクセルペダルを踏み込むと、パーキングブレーキが解除されます。

インテリジェント アラウンドビューモニター★

インテリジェント アラウンドビューモニターは自車位置周辺を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。
電源ポジションがONのときに、＜CAMERAスイッチ＞を押すか、セレクトレバーを**R**にすると表示します。



バックドア

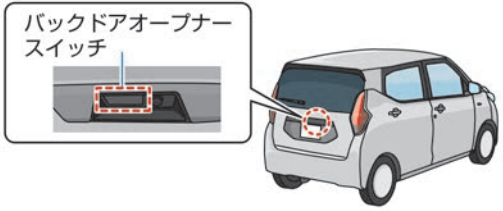
バックドアの開けかた

インテリジェントキー付車

- 解錠されているときは、<バックドアオープナースイッチ>を押し、バックドアを持ち上げます。
- 施錠されているときは、キーを携帯して<バックドアオープナースイッチ>を押し、バックドアを持ち上げます。（ドアも同時に解錠します。）

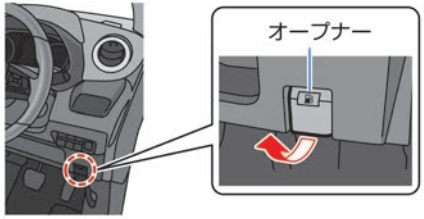
リモートコントロールエントリーシステム付車

- 解錠後、バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。



給油口

運転席右下にあるオープナーを引き、リッドを開けます。



安全に車を使用するための注意事項

正しい運転姿勢に調節する	P.24
正しいシートベルトの着用	P.24
SRSエアバッグの効果を最大限発揮する	P.25
お子さまを乗せるときは	P.26
電波が心臓ペースメーカー等に及ぼす影響	P.26
車両に積んではいけないもの、積むときの注意	P.27
不正改造の影響、電装品装着の注意	P.27
フロアカーペットの正しい装着	P.28

運転時の注意事項

天候（雨、雪）や路面状況に応じた運転	P.29
緊急時の車両停止方法	P.30
運転支援機能の使用上の注意	P.30

正しい運転姿勢に調節する



走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

正しいシートベルトの着用

走行前に必ず次のことを守り、シートベルトを正しく着用してください。



妊娠中のシートベルトの着用に関する注意

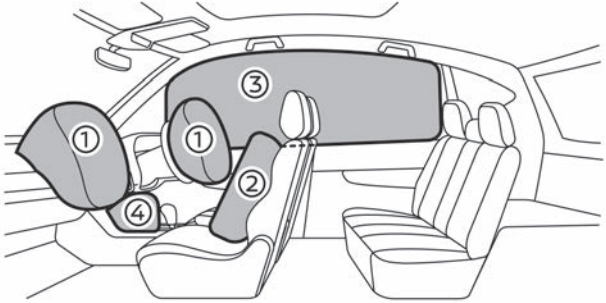
- 妊娠中や疾患のある方も医師に注意事項を確認の上、万一のときのためにシートベルトを着用してください。
  妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

SRSエアバッグの効果を最大限発揮する

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

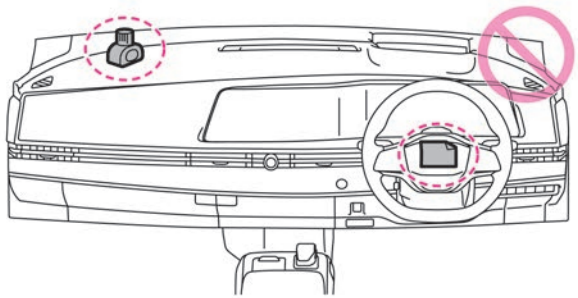
SRSエアバッグの種類

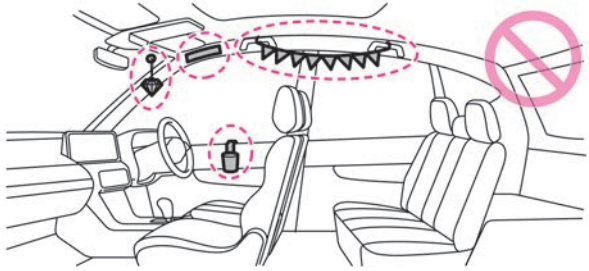
① SRSエアバッグ（前席）
② SRSサイドエアバッグ（前席）
③ SRSカーテンエアバッグ
④ SRSニーエアバッグ（運転席）



※エアバッグの適用は車種、仕様により異なります。

SRSエアバッグの注意事項





次のSRSエアバッグ格納部付近に何かを付けたり、置いたり、かけたりしないでください。SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

- ハンドルのパッド部
- 助手席ダッシュボード上部
- フロントガラス
- ドアガラス
- ドア
- フロントピラーおよびリヤピラー
- ルーフサイドレール
- アシストグリップ

お子さまを乗せるときは

お子さまを乗せるときは次のことを必ずお守りください。思わぬ事故や重大な傷害を受けるおそれがあります。



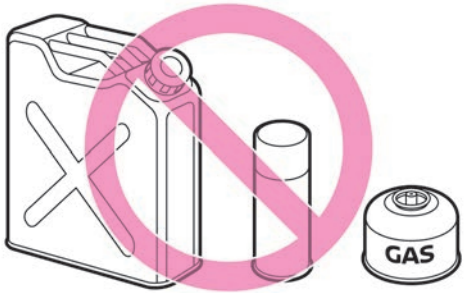
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用してください。
- チャイルドシートは後席シートに取り付けることを推奨します。
- お子様が操作できないように、チャイルドセーフティドアロックやパワーウインドーロックスイッチを使用してください。
- 車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

電波が心臓ペースメーカー等に及ぼす影響

インテリジェントキーについて

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植 込み型除細動器（ICD）を使用されて いる方は、アンテナから約22cm以下 の範囲に装着部位を近づけないでください。
  ドアおよびバックドア開閉時、ドアにあるスイッチ操作時、電気自動車やe-POWERシステム、またはエンジン始動時などに発生するキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用してください。
  キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- アンテナの位置は取扱説明書（電子）をご確認ください。

車両に積んではいけないもの、積むときの注意



燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。
  引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れない。また、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。

荷物を積みすぎない

- 助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

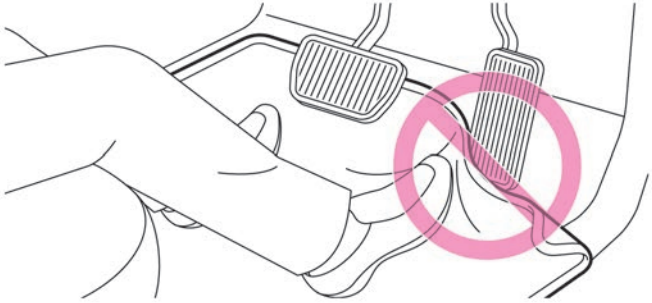
不正改造の影響、電装品装着の注意



日産純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しないでください

- 正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアカーペットの正しい装着



運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守ってください

- 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しないでください。
- フロアマットをすべての固定フック（クリップ）で、正しい位置にしっかりと固定してください。
- 運転する前、電源ポジションがOFFの状態で各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

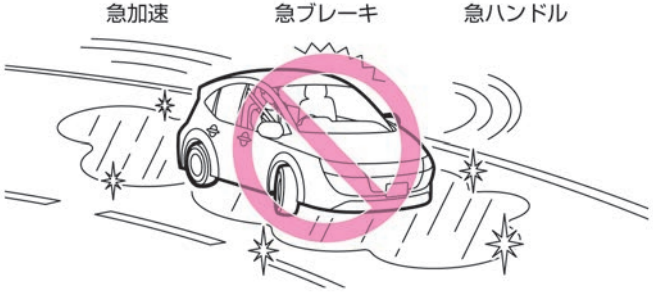
天候（雨、雪）や路面状況に応じた運転

雨天時の走行



- 路面がぬれると滑りやすくなります。
  通常より注意して安全運転を心がけてください。
- わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。
- 冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両事故につながるおそれがあります。

雪道の走行



滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
  効きが悪いときは、低速走行でブレーキを軽く踏み、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

緊急時の車両停止方法

緊急の場合以外は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止すると、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。

非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。

非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

ガソリンエンジン車

緊急時など、走行中に強制的にエンジンを停止させるときは、次の操作を行ってください。

● ＜エンジンスイッチ＞を2秒以上押し続ける。

e-Power車、EV車

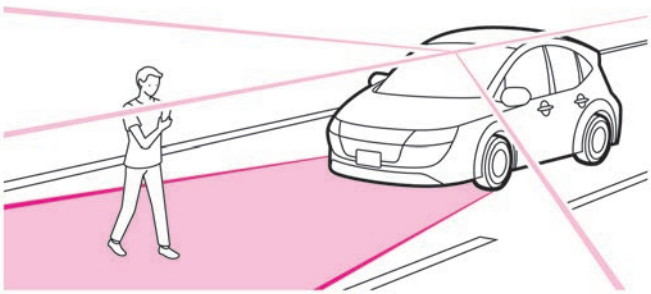
緊急時など、走行中に強制的にEVシステム、またはe-Powerシステムを停止（＜パワースイッチ＞OFF）させるときは、次の操作を行ってください。

● ＜パワースイッチ＞を2秒以上押し続ける。

運転支援機能の使用上の注意

運転支援機能は、自動で運転する装置ではありません。運転者は交通法規を遵守し、常に周囲に注意し、道路・交通・自車の状況に応じハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダルを確実に操作し、安全な運転を行う責任があります。性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキについて

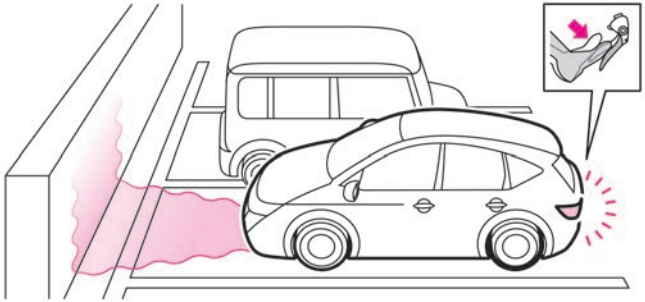


●インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持してください。

●次のような障害物は検知しません。
- 子供などの背の低い人、動物
- 対向車両
- 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者、人が乗車している自転車以外の障害物）

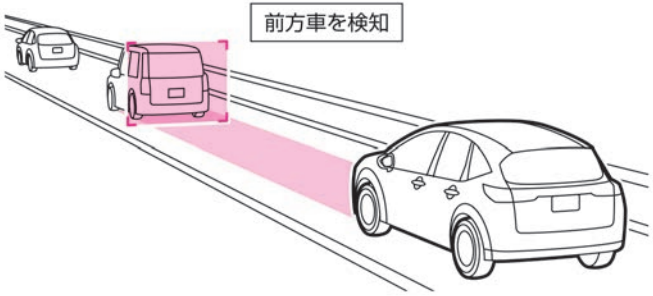
●システムは車両の後端を認識するため、次の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
- バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
- 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
- 前方を横切って通過する車両
- 斜めもしくは前向きに止まっている車両

踏み間違い衝突防止アシスト機能について



●踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違えにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

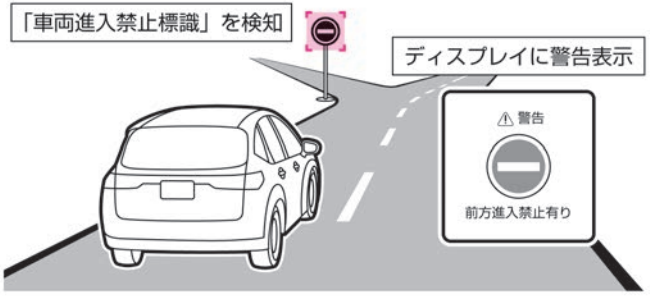
プロパイロットについて



- プロパイロットは自動で運転する装置ではありません。また、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。
- プロパイロットは高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。
- プロパイロットは同一方向に走行する車両を検出し、車間距離を保つようアクセル、ブレーキを制御します。
- プロパイロットは車線中央付近を走行するようにステアリングを制御します。側方から車両が近づいてきても反応しません。
- プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。
- プロパイロットを解除せずに降車しないでください。

※プロパイロットの適用は車種、仕様により異なります。

標識検知機能について



- 走行中は必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。
- マルチセンシングフロントカメラの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください
- 標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

トラブルがおきたときは

まずはじめに

故障したときは	P.34
発炎筒	P.34
けん引について	P.35

緊急時の対処方法

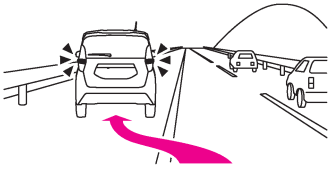
パンクしたときは	P.38
ドアが開かないときは	P.41
インテリジェントキー★で始動できないときは	P.42
ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは	P.43
12Vバッテリー（メイン）があがったときは	P.44
警報音（ブザー）が鳴ったときは	P.46
窓ガラスがくもったときは	P.48
オーバーヒートしたときは	P.49
セレクトレバーが動かないときは	P.50
雪道やぬかるみにはまったときは	P.50
水没したときは	P.51
外装ランプが点灯しないときは	P.52
ヒューズが切れたときは	P.56

故障したときは

車両が故障したときは、次の手順で対処してください。

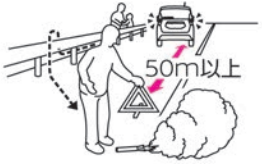
故障したときの対処のしかた

1. 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。
路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。

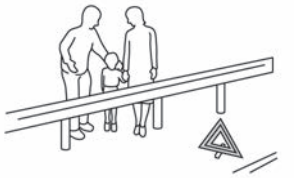


2. 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。

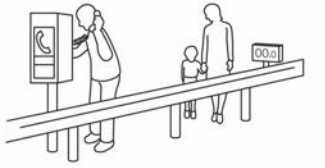
➔WEB



3. 運転者もガードレールの外側などに避難します。
避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないように注意してください。



4. 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



⚠ 警告

- **発炎筒はトンネル内では使用しない。**
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。非常点滅表示灯を使ってください。

⚠ 注意

- **エンジンが停止しているときは、慎重に運転する。**
故障によりエンジンが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなったりすることがあります。すみやかに安全な場所に停車してください。

アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務付けられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

発炎筒

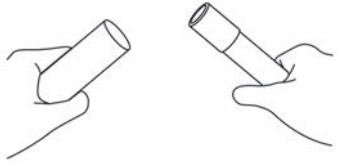
高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

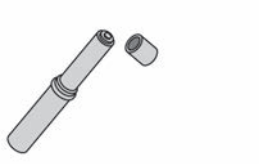
1. 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



2. 本体をひねりながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。



3. 先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。



⚠ 警告

- **お子さまには触らせない。**
  いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- **可燃物の近くで使用しない。**
  引火するおそれがあります。
- **点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。**
  やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

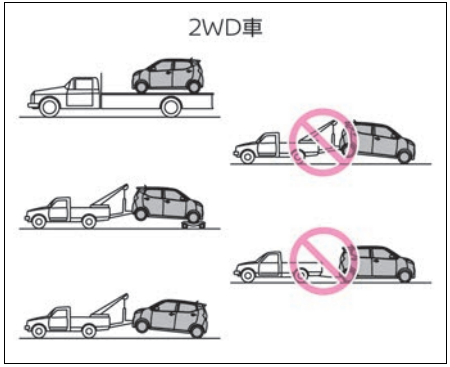
けん引について

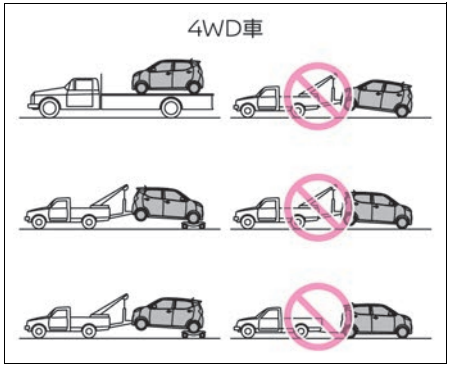
けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。

やむをえずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

けん引時の注意事項

- 車両が動かなかったり、異常な音がしたりするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 車両を運搬するときは、2WD車は前輪または4輪を、4WD車は4輪を持ち上げてください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、セレクトレバーを**N**に入れて行ってください。
- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離40km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損するおそれがあります。できるだけレッカー車、またはトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。
- けん引中は、プロパイロット★をOFFにする。
- けん引中は、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。





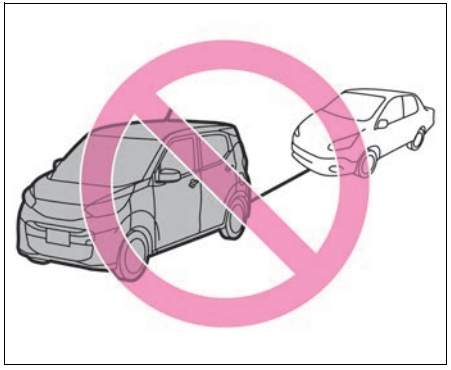
⚠ 注意

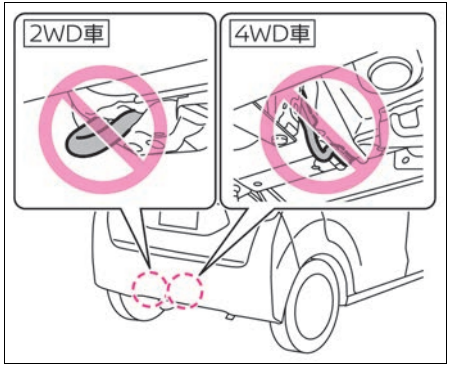
- **2WD車の前輪を持ち上げてけん引するときは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする。**
  VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

リヤフックについて

この車両で他車をけん引することはできません。後ろ側についているフック（リヤフック）は船舶またはトレーラー輸送時の固定専用です。

けん引時などの固定には絶対使用しないでください。



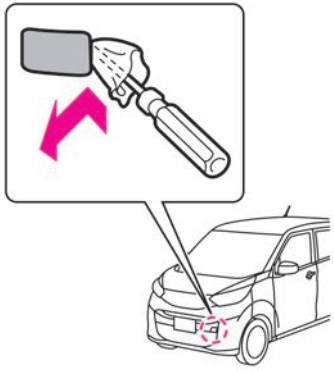


アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

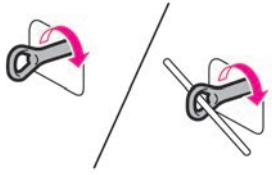
やむをえず4輪接地でけん引されるときは

1. 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。



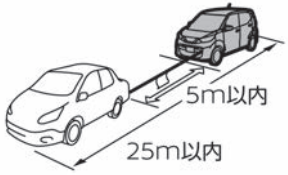
2. 金属の固い棒などを使用して、けん引フックを取り付けます。

WEB

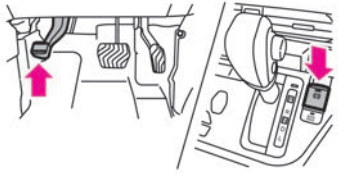


3. 自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に30cm×30cm 以上の白い布を取り付けます。

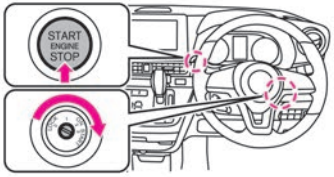
ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。



4. エンジンを始動しセレクトレバーを**N**に入れ、パーキングブレーキを解除します。



5. エンジンを始動できないときはキースイッチ（電源ポジション）をONにし、セレクトレバーを**N**にしてください。



⚠ 警告

インテリジェントキー付車

- **4輪接地でけん引されるときは、電源ポジションをOFFにしない。**
  電源ポジションがOFFで12Vバッテリー（メイン）があがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをOFFにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

リモートコントロールエントリーシステム付車

- **4輪接地でけん引されるときは、キースイッチをLOCKにしない。**
  ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。

⚠ 注意

- **エンジンが停止していると、ブレーキや電動パワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなったりすることがあるので注意する。**
- **けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。**
  フック部が破損するおそれがあります。
- **長い下り坂ではけん引しない。**
  ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- **4WD車はトレーラーに車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらう。**
  2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

アドバイス

- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。

知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両にはスペアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

応急修理する前に

応急修理を行うときは、次の準備をしてください。

- 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
- パーキングブレーキをかける。
- セレクトレバーをPにする。
- キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする。
- 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を置く。
  ➔WEB
- 人や荷物を降ろす。
- 工具★、タイヤ応急修理キットを取り出す。
  ➔WEB
- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理ができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。
  - 約4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
  - タイヤサイド部が損傷を受けたとき
  - ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールから外れているとき
  - ホイールが破損しているとき
  - タイヤが2本以上パンクしているとき
  - 修理剤の有効期限が切れているとき

アドバイス

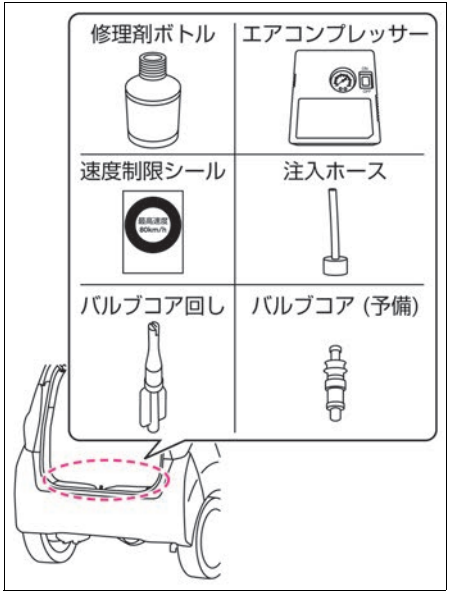
- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。

知識

- タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。



知識

- タイヤ応急修理キットを取り出すときは、後席シートを車両前方へスライドさせてください。（2WD車）

応急修理のしかた

■ 修理剤の注入

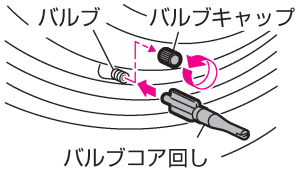
1. 修理剤ボトルとエアコンプレッサーを取り出し、修理剤ボトルをよく振ります。



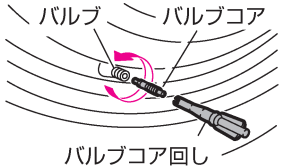
2. 修理剤ボトルの内ぶたを付けたまま注入ホースをねじ込みます。
（注入ホースをねじ込むと内ぶたが破れます。）



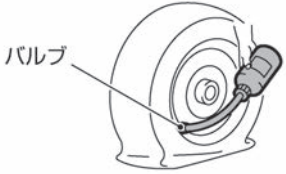
3. パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを外し、ビニール袋に入っているバルブコア回しの後ろでバルブ内のバルブコアを押し、タイヤの空気を完全に抜きます。



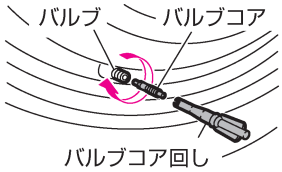
4. バルブコア回しでバルブコアを回し、取り外します。



5. 注入ホースをバルブに差し込みます。その後、修理剤ボトルをさかさまにして持ち、修理剤がすべてタイヤ内に注入できるまで何回も圧迫します。



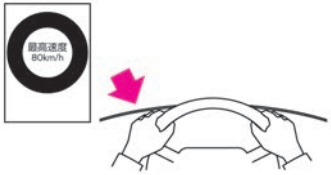
6. 注入し終わったら、注入ホースをバルブから引き抜き、バルブコア回しを使ってバルブコアをバルブにしっかりとねじ込みます。



7. 注入が終わった空ボトルから修理剤が漏れるのを防ぐため、注入ホースの先端にバルブコア回しを差し込んで栓をします。



8. 速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼ります。



⚠ 注意

- **バルブコアは慎重に取り外す。**
外すときにタイヤに空気が残っていると、コアが飛び出すおそれがあります。
- **ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。**
SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあ

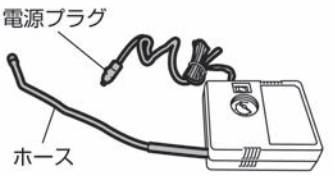
ります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

知識

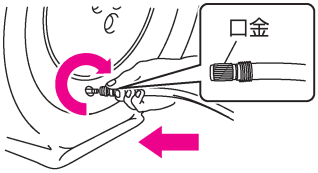
- 修理剤ボトルは注入ホースをねじ込む前によく振ってください。注入ホースをねじ込んだあとに修理剤ボトルを振ると、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 修理剤は衣服などに付着すると取れなくなるおそれがありますので注意してください。
- 寒冷時には修理剤の粘度が高くなり、注入作業がしにくくなります。その場合、車内などで温めると注入作業がしやすくなります。
- バルブコアは汚れないようにきれいに保管してください。
- 空になった修理剤ボトルは、タイヤ交換または恒久修理のときに修理剤の回収に使いますので、捨てずに日産販売会社または修理業者までお持ちください。

■ エアの注入

1. エアコンプレッサーに格納されているホースと電源プラグを取り出します。



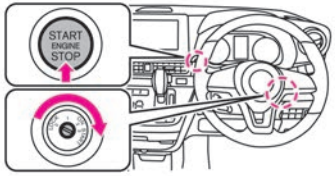
2. エアコンプレッサーのホースの口金をタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。



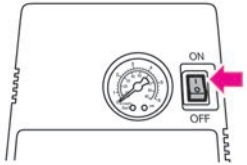
3. 電源プラグを車内の電源ソケットに差し込みます。



4. キースイッチ（電源ポジション）をONにします。



5. エアコンプレッサーのスイッチをONにし、タイヤを指定空気圧まで昇圧させます。



6. 指定空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチをOFFにし、電源プラグを電源ソケットから抜きます。
7. ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。

10分以内に指定空気圧まで昇圧できない場合

10分以内に指定空気圧まで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき

ホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

⚠ 注意

- **空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあるため、やけどしないように注意する。**

アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

知識

- タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示してあります。
- 車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

■ 点検走行

1. ただちに走行を始め、10分間または5km程度走行してください。
   80km/h以下の速度で注意深く運転してください。
2. 走行後、エアコンプレッサーのスイッチがOFFになっていることを確認し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサー ビスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

エアコンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

⚠ 注意

- **走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。**

アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理業者で点検を受けてください。

タイヤ応急修理キットの注意事項

⚠ 注意

タイヤ応急修理キットについて

- **タイヤ応急修理キットは、搭載車両専用のため、他の車には使用しない。**
- **タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充てんや空気圧チェック以外で使用しない。**
- **タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。**
- **分解、改造などは絶対にしない。**
- **コンプレッサーに衝撃を与えない。**
  故障の原因となります。
- **お子さまが誤って手を触れないように注意する。**

修理剤について

- **修理剤を口に入れない。**
  修理剤を飲み込むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- **万一目や皮膚に付着したときは、水でよく洗い流す。**
  それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

アドバイス

タイヤ応急修理キットについて

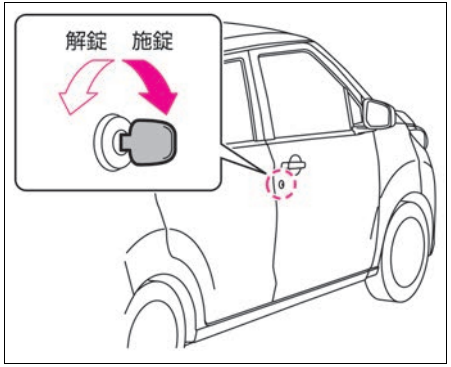
- タイヤ応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 水やほこりを避けて使用してください。

ドアが開かないときは

キーの電池が切れたときや、12Vバッテリー（メイン）があがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた

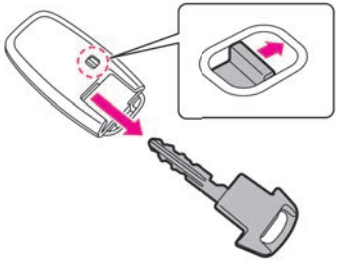
運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両後方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両前方に内蔵キーを回します。



知識

インテリジェントキー付車

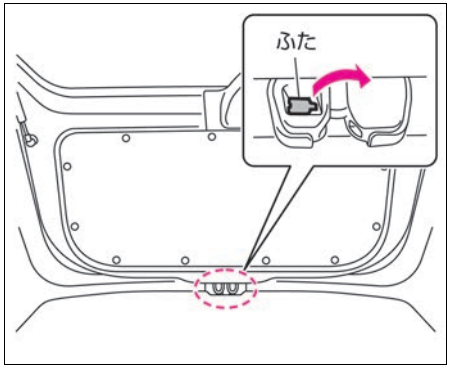
- 内蔵キーはインテリジェントキーに内蔵されています。

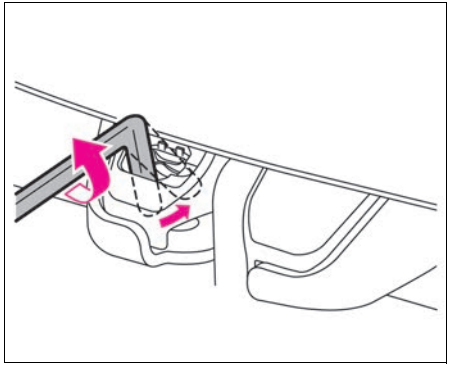


緊急時のバックドアの開けかた

12Vバッテリー（メイン）あがりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- バックドアの車室内側にあるロック機構のふたを開けます。
- お手持ちの六角レンチを穴に差し込みレバーを矢印の方向に動かして解錠し、バックドアを持ち上げます。





アドバイス

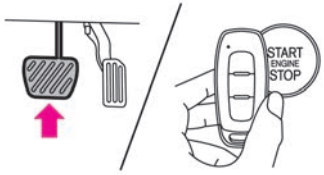
- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- バックドアオープナースイッチなどの故障につながるおそれがあるため、この操作をしたときは日産販売会社で点検を受けてください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェントキー★で始動できないときは

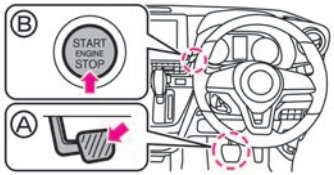
キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でエンジンを始動してください。

エンジンの始動のしかた

1. ブレーキペダルを踏み、キーのロゴマークの裏面をエンジンスイッチに接触させます。
（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）



2. ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルⒶをしっかりと踏み込みながら、エンジンスイッチⒷを押します。



アドバイス

- 左記の手順でエンジンを始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。

知識

- 停止操作は通常と同じ手順です。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（➔WEB）をご使用ください。
- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
  ➔WEB

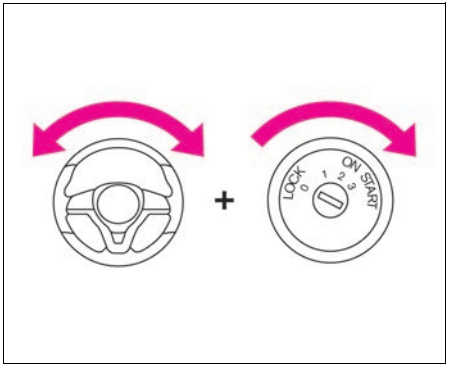
ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは

ハンドルがロックされているときはキーが回せなかったり（リモートコントロールエントリーシステム付車）、エンジンスイッチを押しても電源ポジションが切り替わらない場合があります（インテリジェントキー付車）。次の手順でハンドルロック（ステアリングロック）を解除してください。

ハンドルロック（ステアリングロック）の解除のしかた

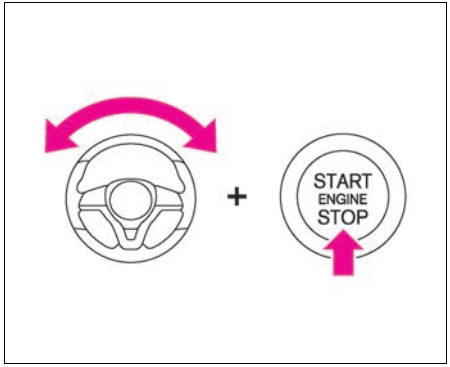
リモートコントロールエントリーシステム付車

- ハンドルを左右に回しながらキーを回します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。
  エンジンの始動のしかた（➔WEB）



インテリジェントキー付車

- ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチを押します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。
  エンジンの始動のしかた（➔WEB）



アドバイス

- ハンドルがロックされていても、数mm～数cmだけ動かすことができます。その範囲内でハンドルを左右にゆっくり回しながらキーを回す（リモートコントロールエントリーシステム付車）、またはエンジンスイッチを押してください。（インテリジェントキー付車）
- ハンドルがロックされているときはハンドルが重く、力を入れないと回すことができないことがあります。
- インテリジェントキー付車は、12Vバッテリー（メイン）があがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかに12Vバッテリー（メイン）を充電してください。

12Vバッテリー（メイン）があがったときは

12Vバッテリー（メイン）があがり、エンジンの始動ができなくなったときは、救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。この車両には、12Vバッテリー（メイン）とリチウムイオンバッテリー（サブ）の2つのバッテリーが搭載されていますが、12Vバッテリー（メイン）のみ接続してください。
（➔WEB）

⚠ 警告

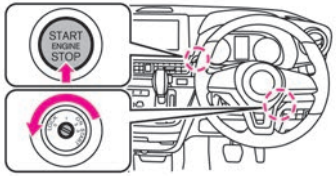
- **ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。**
  12Vバッテリー（メイン）から発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。**
  バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。
- **ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。**
- **ブースターケーブルを自車12Vバッテリー（メイン）の⊖端子に直接つながない。**
- **ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。**
  火花が発生し、12Vバッテリー（メイン）から発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **12Vバッテリー（メイン）の⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**
  接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリー（メイン）の端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- **12Vバッテリー（メイン）を交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**
  しっかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

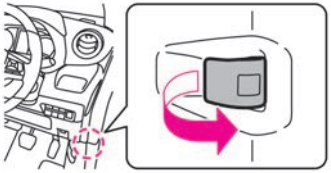
- 12Vバッテリー（メイン）とリチウムイオンバッテリー（サブ）の2つのバッテリーを使用しています。12Vバッテリー（メイン）があがるとエンジンが始動できません。バッテリーがあがったときは、12Vバッテリー（メイン）を処置をしてください。
- ブースターケーブルをつなぐときは、必ず12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼してください。12V（ボルト）以上のバッテリーにブースターケーブルをつないだ場合、つなぎ方を間違えると車両が破損するおそれがあります。

ジャンプスタートのしかた

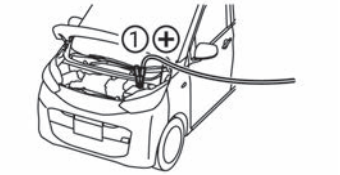
1. 自車と救援車のキースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。
   インテリジェントキー付車
   （➔WEB）
   リモートコントロールエントリーシステム付車（➔WEB）



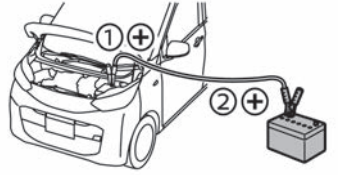
2. 自車の運転席の右下にあるボンネットオープナーを引いて、ボンネットを開けます。
   ➔WEB



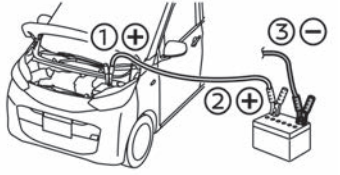
3. ブースターケーブル①を自車の12Vバッテリー（メイン）の⊕端子に接続します。



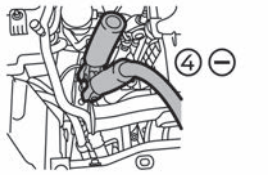
4. 手順3で接続したケーブルの反対側②を救援車のバッテリーの⊕端子に接続します。



5. もう1本のブースターケーブル③を救援車のバッテリーの⊖端子に接続します。



6. 手順5で接続したケーブルの反対側④を右記のような自車の車体（手順3で接続した位置から離れた未塗装の金属部）に接続します。



7. 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
8. 自車のエンジンを始動します。
エンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。
インテリジェントキー付車の始動のしかた（➔WEB）
リモートコントロールエントリーシステム付車の始動のしかた（➔WEB）

⚠ 注意

- **ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触したりしないように注意する。**
- **ブースターケーブルは、確実に接続する。**
救援車のエンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。
- **冷却ファンやベルトに注意する。**
ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- エンジンをかけるときは、ヘッドランプ（➔WEB）やエアコンなどはOFFにしてください。
- エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオ★を使用しないでください。

インテリジェントキー付車

- 12Vバッテリー（メイン）があがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかに12Vバッテリー（メイン）を充電してください。
- エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

警報音（ブザー）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外で警報音（ブザー）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ...（数秒間） （インテリジェントキー付車）	ドアハンドルのスイッチを押したとき	電源ポジションはOFFになっているか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キーのドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを押していないか
	ピッピッピッ（3回） （インテリジェントキー付車）	ドアを閉めたとき	電源ポジションがONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
	ピー（継続） （インテリジェントキー付車）	ドアを閉めたとき	セレクトレバーがP以外のままキーが車外に持ち出されていないか

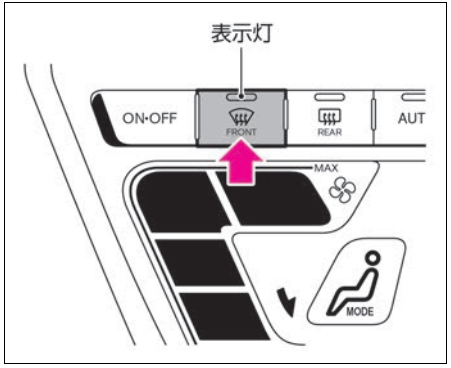
どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピピピッ、 ピピピピッ…（繰り返し） （インテリジェントキー付車）	電源ポジションをOFFにしたとき	運転席ドアが開いていないか
	ピピピピッ、 ピピピピッ…（繰り返し） （リモートコントロールエントリーシステム付車）	運転席ドアを開けたとき	キースイッチにキーが差し込まれたままになっていないか
	ピピッピピッピピッ（3回） （インテリジェントキー付車）	ドアを閉めたとき	電源ポジションがONのまま、キーが車外に持ち出されていないか
		エンジンスイッチを押したとき	キーを携帯しているか キーを携帯してもブザーが鳴るときは、キーの電池を交換してください
	ピピピピピピッ（約1秒間） （インテリジェントキー付車）	電源ポジションをOFFにしたとき	セレクトレバーをPに入れているか

窓ガラスがくもったときは

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

フロントガラスのくもりの取りかた

オートエアコン付車



- デフロスタースイッチをタッチするとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。
  （スイッチの表示灯が点灯）
- もう一度スイッチをタッチすると止まります。
  （スイッチの表示灯が消灯）
- スイッチをタッチすると、操作音が鳴ります。

⚠ 注意

- **デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。**
  フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

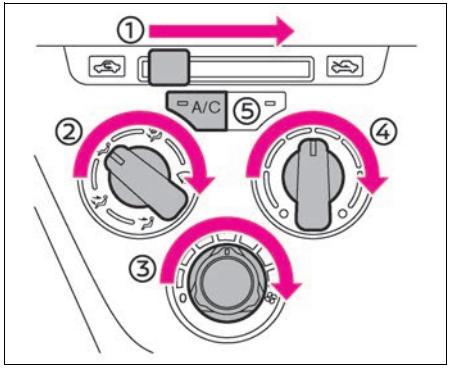
アドバイス

- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチをタッチするとエアコンも作動します。

マニュアルエアコン付車



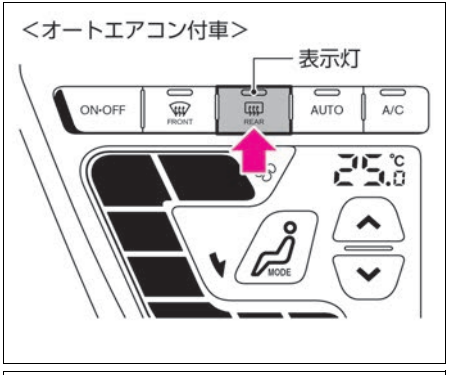
- 内外気切り替えレバー①を外気導入位置にします。
- 吹き出し口切り替えダイヤル②をデフロスター位置 にします。
- 風量切り替えダイヤル③を回し、風量を最大にします。
- 温度調節ダイヤル④を高温側に回します。
- A/Cスイッチ⑤を押してONにします。

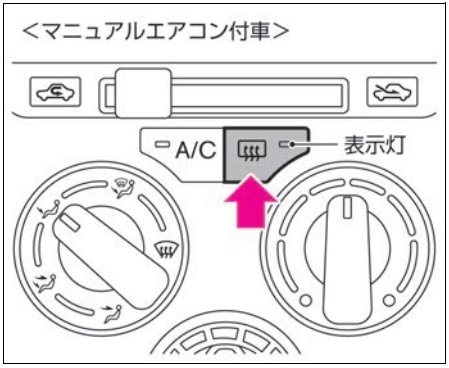
アドバイス

- 吹き出し口切り替えダイヤルをデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低温にしないでください。フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。
- 吹き出し口切り替えダイヤルをデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

バックドアガラスのくもりの取りかた

- リヤウインドーデフォッガースイッチをタッチする（押す）と約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。
  （リヤウインドーデフォッガースイッチの表示灯が点灯）
- 止めるときは、もう一度スイッチをタッチします（押します）。
  （リヤウインドーデフォッガースイッチの表示灯が消灯）
- オートエアコン付車は、スイッチをタッチすると、操作音が鳴ります。





アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が多いため12Vバッテリー（メイン）あがりの原因になります。

知識

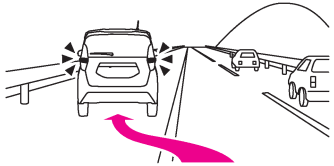
- リヤウインドーデフォッガースイッチをタッチする（押す）と、ドアミラーヒーター★も同時に作動します。

オーバーヒートしたときは

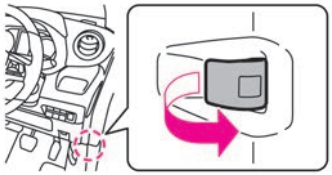
アドバンスドドライブアシストディスプレイにオーバーヒート警告（➔WEB）が表示されたときや、エンジンルームのすき間から蒸気が出ているときはオーバーヒートしています。次の方法で処置してください。

処置のしかた

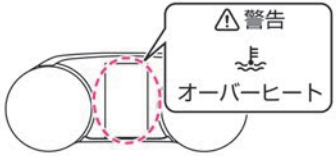
1. ただちに安全な場所に停車します。
   ➔WEB



2. エンジンを作動させたままボンネットを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
   万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを停止し、自然冷却してください。



3. アドバンスドドライブアシストディスプレイのオーバーヒート警告が消えたら、エンジンを停止させしばらく待ちます。
   エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。

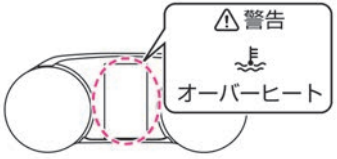


4. 冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。
   ➔WEB
   補充後は、しっかりキャップを閉めてください。



5. 走行中、再度アドバンスドドライブアシストディスプレイにオーバー

ヒート警告が表示されたら、手順1～手順4の作業を繰り返し行ってください。



6. 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- **ボンネットを開けるときは十分に注意する。**
  エンジンルーム内は高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**
  やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  エンジンを停止し、蒸気が出なくなるまで待ち、ボンネットを開けてください。
- **エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さない。**
  蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- **オーバーヒートしたときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置をする。**
  そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

アドバイス

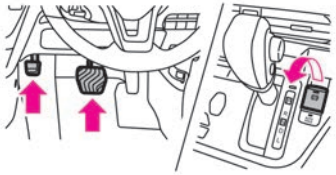
- 応急的に水だけを補充したときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

セレクトレバーが動かないときは

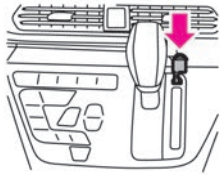
万一12Vバッテリー（メイン）あがりなどでセレクトレバーを**P**から動かせないときは、次の方法で動かすことができます。

セレクトレバーの動かしかた

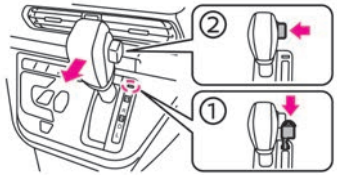
1. 安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。



2. 内蔵キー（メカニカルキー）または、お手持ちの先の細い工具などをシフトロック解除穴に押し込みます。



3. 内蔵キーまたはお手持ちの先の細い工具などを押し込んだまま①、セレクトレバーのボタンを押して②セレクトレバーを動かします。



アドバイス

- セレクトレバーを**P**から動かせないときは、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

知識

インテリジェントキー付車

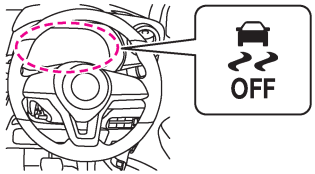
- 内蔵キーはインテリジェントキーに内蔵されています。詳しくは（➔WEB）をお読みください。

雪道やぬかるみにはまったときは

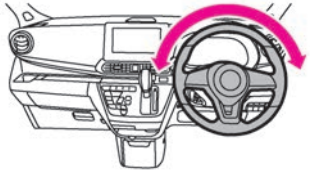
雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったりしたときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

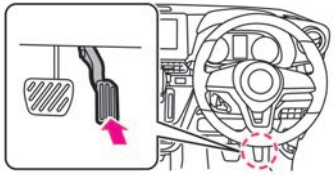
1. VDC をOFF にします。
   ➔WEB



2. 車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。
必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。



3. ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。



⚠ 警告

- **周囲の安全を必ず確認する。**
周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- **必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。**
急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。**
タイヤがバースト（破裂）したり、駆動部品が異常過熱したりすることにより思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

水没したときは

水没したときの対処のしかた

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、パワーウインドーのスイッチを押し窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- パワーウインドースイッチを押しても窓ガラスが開かない場合、以下の方法で脱出してください。
  - 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
  - 緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらいまで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。
（車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます。）
- 浸水・冠水被害に遭われた場合は、車両故障につながるおそれがあるため、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- **水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車室内に入り、ケガをするおそれがあります。**

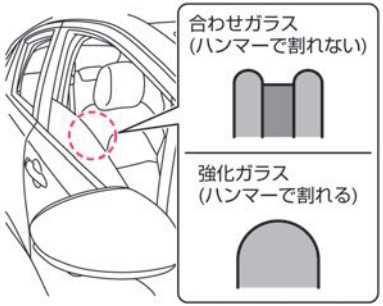
緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

- **フロントウインドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。フロントドアガラス、リヤドアガラス、バックドアガラスを割って脱出してください。**
- **ドアガラスは車種によって、合わせガラスを使用しています。ただし、車両の仕様変更により合わせガラスの位置が異なる場合があります。**
合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしく

は刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスとなります。



ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。

Eマーク



■合わせガラス：XI、V-XI
■強化ガラス：無印、V

JISマーク



■合わせガラス：L
■強化ガラス：T

※車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない、またはガラスの種類を示す表示の位置が異なる場合があります。

外装ランプが点灯しないときは

次の交換可能な電球（バルブ）、番号灯、方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面/フェンダータイプ）以外の外装ランプはすべてLEDです。

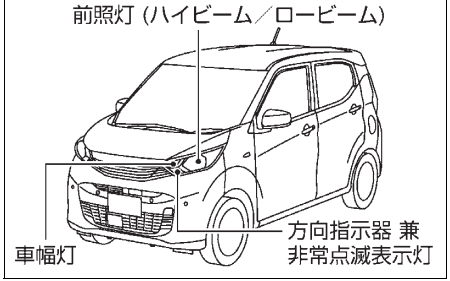
LEDが一部でも点灯しない場合は日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。また、ヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。

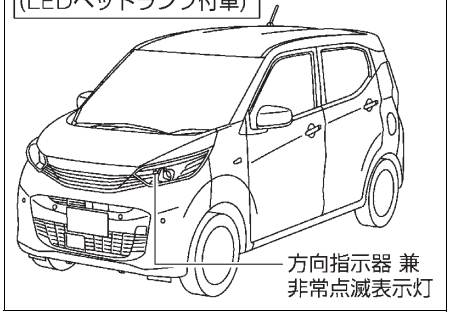
また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

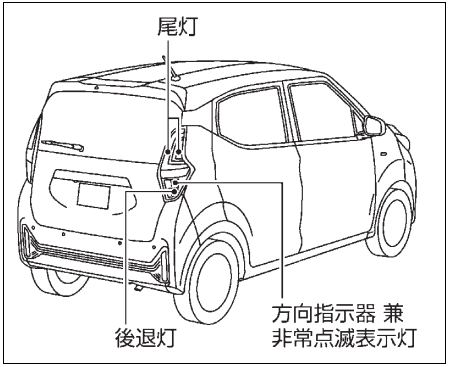
交換可能な電球（バルブ）の位置

ハイウェイスター車以外
(ハロゲンヘッドランプ付車)



ハイウェイスター車以外
(LEDヘッドランプ付車)





⚠ 注意

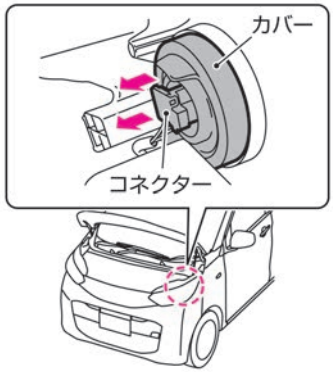
- **電球交換は、ボンネットや電球が冷えた状態で行う。**
  やけどをするおそれがあります。
- **ステーなどの端で指や腕をケガしないように注意する。**
- **電球は確実に取り付ける。**
  電球は点灯中、表面が高温になります。電球が正しく取り付けられていないと、走行中に電球が外れて周辺の部品に接触するなどし、発熱、発火につながるおそれがあります。

アドバイス

- 電球交換をするときは、軍手などを着用してください。
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- 電球に油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。電球の寿命が短くなったり電球が破損するおそれがあります。

ハイビーム／ロービーム（ハイウェイスター車以外（ハロゲンヘッドランプ付車））

1. ボンネットを開け、コネクターとカバーを取り外します。
   ➔WEB



⚠ 注意

- **電球の取り扱いには注意する。**
  ハイビーム／ロービームに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

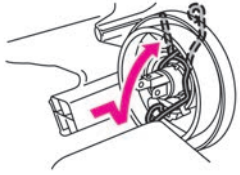
アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- リテーニングスプリングが必ず固定されたことを確認してください。

知識

- ハイビーム／ロービームヘッドランプ：12V-60/55W（H19）
- LEDヘッドランプ付車のハイビーム／ロービームヘッドランプは交換できません。点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

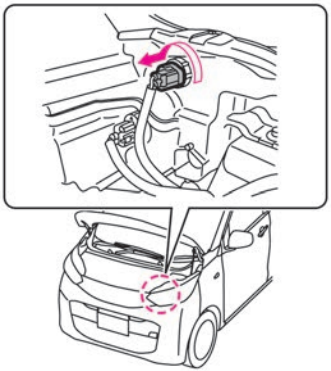
2. リテーニングスプリングのロックを外し、電球を交換します。



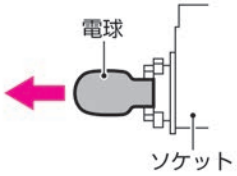
3. 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

車幅灯（ハイウェイスター車以外（ハロゲンヘッドランプ付車））

1. ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。
   ➔WEB



2. 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



3. 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

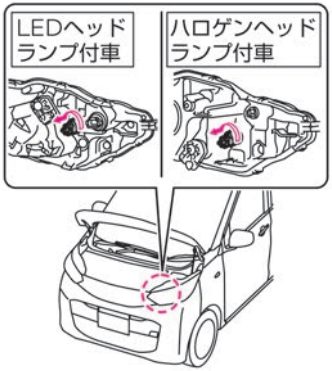
知識

- 車幅灯：12V-5W（W5W）
- LEDヘッドランプ付車の車幅灯は交換できません。点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

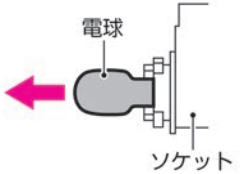
方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）（ハイウェイスター車以外）

1. ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。

WEB



2. 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



3. 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

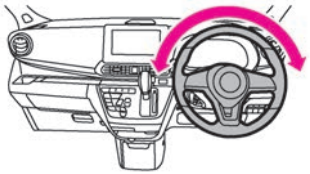
- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

知識

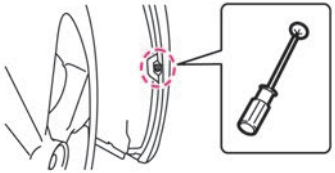
- 方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）：12V-21W（アンバー）（WY21W）

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）（ハイウェイスター車）

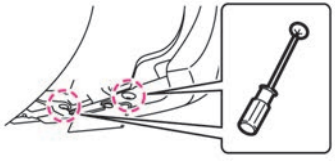
1. 作業スペースを確保するため、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。



2. お手持ちの工具でネジを外します。



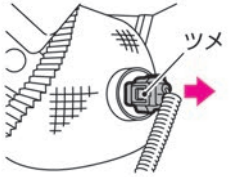
3. 下側のネジを外します。



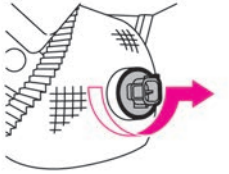
4. カバーをめくり、作業スペースを確保します。



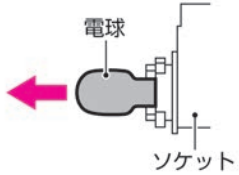
5. コネクターを取り外します。（ツメを押しながら外します。）



6. ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



7. 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



8. 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

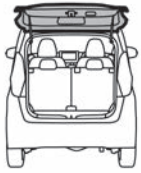
- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

知識

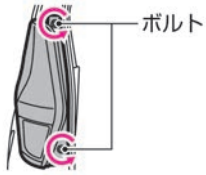
- 方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）：12V-21W（アンバー）（WY21W）

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）／後退灯／尾灯

1. バックドアを開けます。



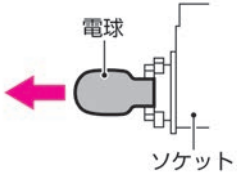
2. リヤコンビランプのボルトを外し、ランプをまっすぐ後方に引いて取り外します。



3. 交換したい電球のソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



4. 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。



5. 取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

知識

- 尾灯：12V-5W（W5W）

- 方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）：12V-21W（アンバー）（WY21W）
- 後退灯：12V-16W（W16W）

ヒューズが切れたときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

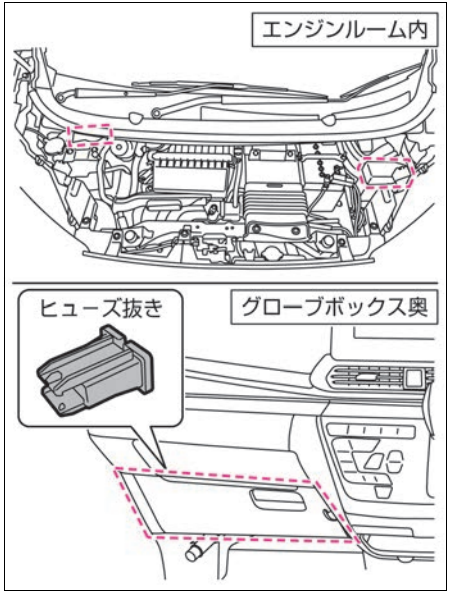
故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

ヒューズボックスの位置

- ヒューズボックスは、次の位置にあります。
  - エンジンルーム内
  - グローブボックス奥
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側またはヒューズボックス付近に表示してあります。

ヒューズ抜きについて

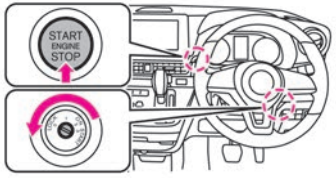
- グローブボックス奥のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。



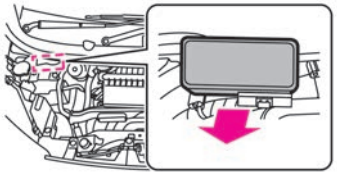
ヒューズの点検・交換のしかた（エンジンルーム内）

1. キースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、ボンネットを開けます。

WEB



2. ヒューズボックスのふたを外します。



3. ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。

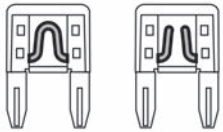
ヒューズ抜き（WEB）



4. ヒューズが切れていないか点検します。

切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像

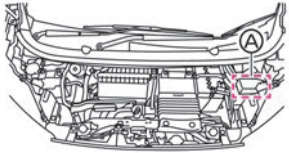


⚠ 警告

- **規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。**
  電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

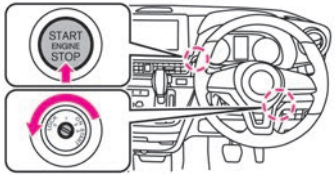
アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- Ⓐの位置にあるヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。



ヒューズの点検・交換のしかた（グローブボックス奥）

1. キースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。



⚠ 警告

- **規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。**
  電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

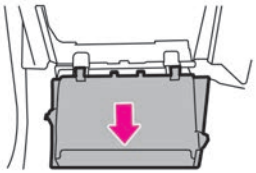
アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- グローブボックスを取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

2. グローブボックスを開け、左右のストッパーを外します。



3. グローブボックスを外します。

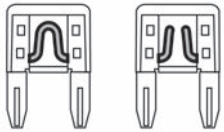


4. ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。
   ヒューズ抜き（➔WEB）



5. ヒューズが切れていないか点検します。
   切れているときは新しいヒューズと交換します。

ヒューズの参考画像



MEMO

安全なドライブのために

運転する前に P.60
シートベルト P.61
エアバッグ P.62
お子さまの安全のために P.64

各部の操作

キー P.71
ドアの施錠と解錠 P.71
シートの調節 P.72
ハンドルの調節 P.73
ミラーの調節 P.74
窓ガラスの開閉 P.74
燃料補給口の開閉 P.74
エアコンの操作 P.75
オーディオ P.75

運転のしかた

始動する P.76
運転する P.76
ランプをつける、ワイパーを使う P.78
運転支援機能 P.79
カメラシステム P.87

室内装備

収納装備 P.90
その他の室内装備 P.90

運転する前に

運転前の準備

正しい運転姿勢について

⚠ 警告

- **ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。**
  走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。**
  固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。**
  運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転するときに注意すること

⚠ 警告

排気ガスには十分注意する

- **排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと一酸化炭素中毒になり、重大な健康障害におよぶか、死亡につながるおそれがあります。**
- **次の状況では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。**
  排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりするおそれがあります。
  - 雪が積もった場所に駐停車するとき
  - 降雪時に駐停車するとき
  - 車庫や屋内、壁などに囲まれた換気が悪い場所に駐停車するとき
  - 仮眠や長時間の駐車をするとき
  - 排気管が腐食または損傷しているおそれがあるとき
  - 他車の排気口が近くにあるとき
- **走行する前に、バックドアが確実に閉まっていることを確認する。**
  走行中に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- **車室内に排気ガスが侵入したと感じたときは、窓を開けて十分に換気をする。**
- **排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受ける。**
  排気ガスが車室内に侵入するおそれがあり危険です。

車室内に人やペットを残さない

- **お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。**
  炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクターにはご注意を

- **診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けないでください。12Vバッテリー（メイン）があがったり、警告灯が点灯したりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。**

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- **ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。**
  引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- **操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れない。また、床やシートのすき間に落としたままにしない。**
  荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- **排気音が大きくなったときは、日産販売会社で点検を受ける。**
  排気管が腐食したり路面干渉などで損傷したりしているおそれがあります。また、排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車室内に侵入し、火災につながるおそれがあります。
- **事故などでランプが破損したまま走行しない。**
  内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

空ぶかしをしたり、エンジンをかけたまま仮眠をしない

- **万一、セレクトレバーがP以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識にセレクトレバーを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。**

⚠ 注意

- **ウインドーにアクセサリーを取り付けない。**
  視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをしたりして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造しない

- **市販の不適合品のマフラー取り付けや、日産純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しない。**
  正常な性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り**

付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。**

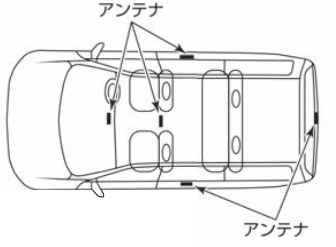
心臓ペースメーカーなどをご使用されている方への注意事項

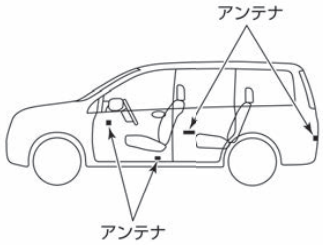
⚠ 警告

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のことにご注意ください。

インテリジェントキー★について

- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。**
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、エンジン始動時などに発生するキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。





- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。**
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

SOSコール★について

- **SOSコールは無線通信機能を利用しているため、心臓ペースメーカーやその他医療用電気機器を使用する場合は、当該の各医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響について必ず確認する。**
SOSコールの電波が医療用電気機器の動作に影響を与える場合があります。
WEB

シートベルト

シートベルトについて

⚠ 注意

- **プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しない。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。**
誤って作動したり、正常に作動しなくなったりするおそれがあります。

プリテンショナーシートベルトについて（前席／後席★）

⚠ 警告

- **SRSエアバッグ警告灯 が点灯しているときは走行しない。**
キースイッチ（電源ポジション）をONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

⚠ 注意

- **廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。**

3点式シートベルト

シートベルトの着用のしかた

⚠ 警告

- **ベルトが肩に確実にかかる位置にアンカーの高さを調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。**
万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートベルトの注意事項

⚠ 警告

- **走行する前に全員がシートベルトを着用する。**
着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。

- **シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。**
  シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
  - 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
  - 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
  - ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
  - 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。
  - 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身が拘束できないことがあります。
  - クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果が発揮できないことがあります。
- **シートの背もたれを倒したまま走行しない。**
  シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。**
  シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**
  ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。
- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
  お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**
  ➔WEB
- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたりしたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。**
  一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。

⚠ 注意

- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**
  ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮できないことがあります。
  シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

エアバッグ

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**
  - キースイッチ（電源ポジション）をONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき（消灯したままのとき）
  - SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき

  SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。
- **正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。**
  SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。
- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**
  SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
  ➔WEB



- **必ず次のことを守る。**
  SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなったりし、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。

また、SRSエアバッグ格納部に傷がついているとき、およびひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
SRSエアバッグ（前席）の格納場所は（➔WEB）をお読みください。
SRSサイドエアバッグ（前席）の格納場所は（➔WEB）をお読みください。
SRSカーテンエアバッグの格納場所は（➔WEB）をお読みください。
SRSニーエアバッグ（運転席）★の格納場所は（➔WEB）をお読みください。

- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使用したSRSエアバッグの回路診断、または回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどの取り付けや、サスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

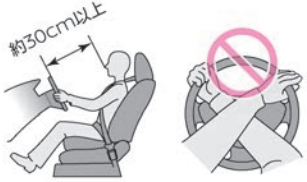
- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグに触らない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**
皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。

SRSエアバッグシステム（前席）

SRSエアバッグシステム（前席）の注意事項

⚠ 警告

- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。**
ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



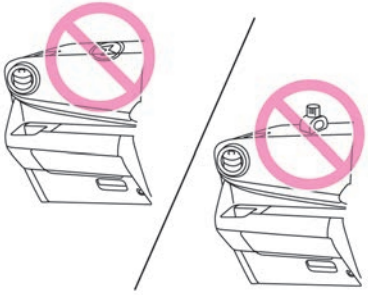
- **不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼ったりしない。**
SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



- **フロントガラスにアクセサリーなどを付けない。**
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。**
SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたり、ひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。
- **チャイルドシートは後席シートに取り付ける。**
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
やむをえず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。
- **チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。**
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



- **SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置いたりしない。**
  SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグシステム（前席）

SRSサイドエアバッグシステム（前席）の注意事項

⚠ 警告

- **SRSサイドエアバッグの格納部に近づかない。**
  ドアにもたれるなど、前席シートの背もたれ側面（外側）に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **前席シートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。**
- **シートカバーは、前席シート背もたれ側面を覆わないものを使用する。**
  SRSサイドエアバッグが正しく作動しないおそれがあります。日産純正シートカバーをおすすめします。

⚠ 注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
  SRSサイドエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグシステム

SRSカーテンエアバッグの注意事項

⚠ 警告

- **SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。**
  万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けない。**
  SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
  SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。

SRSニーエアバッグシステム（運転席）★

SRSニーエアバッグシステム（運転席）の注意事項

⚠ 警告

- **SRSニーエアバッグの格納部に近づかない。**
  万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **SRSニーエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼らない。また、アクセサリーなどを取り付けない。**
  SRSニーエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときに注意すること

⚠ 警告

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

お子さまにもシートベルトを着用する

- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
  お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
  ➔WEB

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**
  ➔WEB

チャイルドシートは後席シートに取り付ける

- **チャイルドシートは後席シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。**
  固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**
  SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



- **チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。**
  車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席シートに乗せる

- **お子さまを助手席に乗せるのは避ける。**
  お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになったりするおそれがあります。
  また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドーなどは大人が操作する

- **ドアやウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。**
  開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **チャイルドセーフティドアロック（➔WEB）やパワーウインドーロックスイッチ（➔WEB）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。**

窓から手や顔を出さない

- **お子さまが腕や顔を出さないように注意する。**
  急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

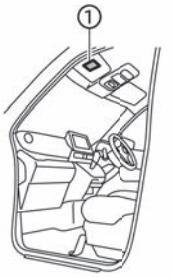
- **車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろす。**
  炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- **お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

チャイルドシート

お子さまの年齢や体格に合わせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

⚠ 警告

- **助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**
  SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



① エアバッグ警告ラベル



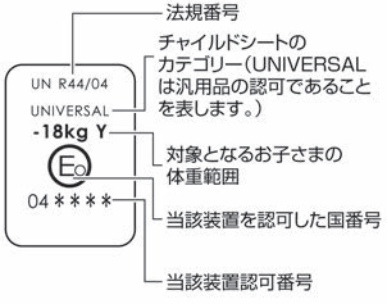
チャイルドシートについて

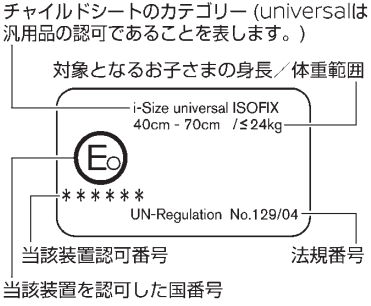
- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格に合わせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44またはR129の基準に適合したi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXアンカレッジを標準装備しています。

知識

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。

- UN R44またはR129はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44またはR129の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。





チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けることができます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使用してチャイルドシートを固定します。

WEB

■ i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシート

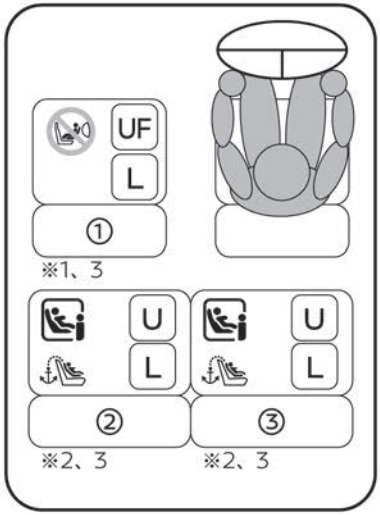
後席シートに付属しているi-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXアンカレッジ（固定装置）で固定します。

WEB

使用できるチャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。

選択の目安



凡例

マーク	説明
U	車両シートベルト固定式汎用型チャイルドシートに適している
UF	車両シートベルト固定式の前向きに取り付ける汎用型チャイルドシートに適している
	i-Size及びISOFIXチャイルドシートに適している
	後ろ向きチャイルドシート取り付け禁止
	ISOFIXチャイルドシート上部取付金具（テザーアンカレッジ）を装備している座席
L	添付リストに記載されたチャイルドシートに適している
	チャイルドシートの取り付けに適していない

※1：チャイルドシートを装着する際は、背もたれを前に倒し、元に戻すときに一番最初にロックする位置に調節してください。
※2：ベルト固縛のチャイルドシートを装着する際は、背もたれを前に倒し、元に戻すときに一番最初にロックする位置に調節してください。
※3：チャイルドシートを装着する際は、シートの前後調節（スライド）を最後端位置に調節してください。

● チャイルドシートがヘッドレストに干渉し安定して取り付けられない場合は一番上に調節してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

幼児拘束装置メーカーに関する詳細情報

シート位置番号	助手席	後席	
	①	②	③
汎用ベルト式に適する着席位置（○/X）	○（前向きのみ）	○	○
i-Size着席位置（○/X）	X	○	○
横向き固定具に適する着席位置（L1/L2）	-	-	-
適する最大の後ろ向き固定具（R1/R2X/R2/R3）	-	R3	R3
適する最大の前向き固定具（F2X/F2/F3）	-	F3	F3
適する最大のブースター固定具（B2/B3）	B3	B3	B3

●ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44またはR129の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

■ 推奨チャイルドシート

日産自動車が推奨するチャイルドシートです。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

年齢（目安）	体重（目安）	身長（目安）	推奨チャイルドシート	座席位置		
				①	②	③
0-18か月	<13kg	<100cm	日産i-Sizeチャイルドシート（後向き）	X	○	○
9か月-4歳	9-18kg	76-100cm	日産i-Sizeチャイルドシート（前向き、後向き）	X	○	○
4-6歳	15-25kg	100-125cm	日産ジュニアシートevo（前向き）	○（ベルト取付のみ）	○	○
6-12歳	22-36kg	125-150cm	日産ジュニアシートevo（前向き）	○（ベルト取付のみ）	○	○

●チャイルドシートがヘッドレストに干渉し安定して取り付けられない場合は一番上に調節してください。上げても安定しない場合には取り外してください。

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

1. ヘッドレストを外し（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置きます。
WEB
シートベルトをチャイルドシートに通し、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



2. チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- **チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。**
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

1. i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXロアアンカレッジは、後席シート左右背もたれのマーク下側にあります。
ヘッドレストを外して（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）、チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってロアアンカレッジに固定します。
WEB



2. テザーアンカレッジは、後席シート背もたれ裏側にあります。
テザーアンカレッジにフックを固定し、テザーベルトを締めます。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- **i-SizeおよびISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、後席シートのヘッドレストを取り外す。（ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートを正しく取り付けられない場合）**
- **チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。**
  確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。
- **チャイルドシートを取り付けるときは、アンカレッジ部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。**
  チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

📖 知識

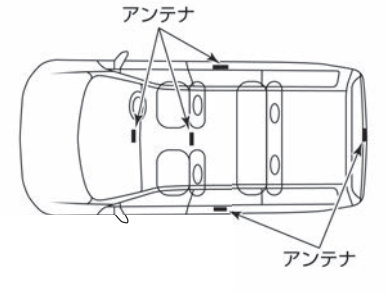
- i-Sizeチャイルドシート対応ISO FIXアンカレッジ（固定装置）は、ロアアンカレッジとテザーアンカレッジの2種類があります。
  ロアアンカレッジは背もたれと座面のすき間にあり、テザーアンカレッジは背もたれ裏側にあります。
- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

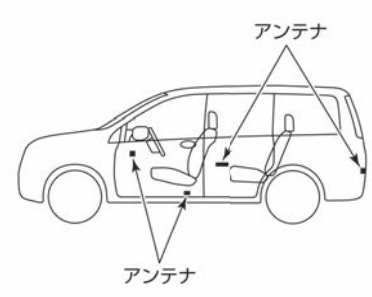
キー

キー（インテリジェントキー）に関する注意事項

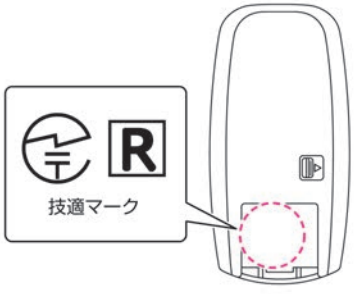
⚠ 警告

- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）を使用されている方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。**
  ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、エンジン始動時などにキーの電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。





- **植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用されている方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。**
  キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- **航空機内ではキーのスイッチを押さない。**
  万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。
- **キーの認証技適マークはキーの裏面で確認できます。**



キー（リモートコントロールエントリーシステム）に関する注意事項

⚠ 警告

- **航空機内ではリモコンのスイッチを押さない。**
  万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。

ドアの施錠と解錠

ドア

ドアに関する注意事項

⚠ 警告

- **ドアの開閉はお子さまにはさせない。**
  手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

- **ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。**
  後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- **走行する前にドアを確実に閉める。**
  走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずエンジンを止め施錠してください。**

バックドア

バックドアに関する注意事項

⚠ 警告

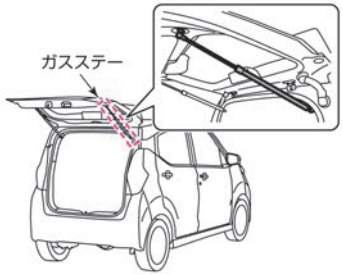
- **バックドアの開閉はお子さまにはさせない。**
  手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。**
  後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- **走行する前にバックドアを確実に閉める。**
  走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。**
  急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **走行前にバックドアが確実に閉まっていることを確認する。**
  バックドアを開けたまま走行すると、車室内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。**
  手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- **バックドアを開けるときは、必ず全開にする。**
  途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- **バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。**
  手を挟まれてケガをするおそれがあります。手で閉める際は、必ず外から押して閉めてください。
- **バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。**
  重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- **風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。**
  風にあおられ、急に閉まることがあります。
- **バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。**

バックドアガスステーについて

- **バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。**
  - ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
  - ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない
- **ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。**
  手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。



シートの調節

前席シート

シートの調節のしかた

⚠ 警告

- **シートは必ず走行前に調節する。**
  走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。**
  固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。**
  シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。**
  運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。**
  挟まれてケガをするおそれがあります。
- **背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。**
  顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- **シートの下に手を入れるときは注意する。**
  車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

ヘッドレストの調節のしかた

⚠ 警告

- **ヘッドレストを外したまま走行しない。**
  万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。**
  万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- **ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。**
  万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

後席シート

シートの調節のしかた

⚠ 警告

- **シートは必ず走行前に調節する。**
  走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。**
  固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。**
  シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- **シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。**
  挟まれてケガをするおそれがあります。
- **背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。**
  顔や身体に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- **シートの下に手を入れるときは注意する。**
  車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームに当たり、ケガをするおそれがあります。

シートの折りたたみかた

⚠ 警告

- **シートは必ず固定する位置で使用する。**

⚠ 注意

- **シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。**
  シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- **背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。**
  急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- **背もたれを起こすときは、シートベルトを背もたれで挟み込んでいないことを確認する。**
  挟み込まれていると、シートベルトが正しく着用できません。

ヘッドレストの使いかた

⚠ 注意

- **ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。**
  万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- **ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。**
  万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

ハンドルの調節

ハンドル

ハンドル位置の調節のしかた

⚠ 警告

- **ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。**

走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。**
  ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの調節

ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー

ディスプレイ付自動防眩式ルームミラーの使いかた

⚠ 警告

- **ミラーの調節は走行前、防眩への切り替えは必要なときのみ行う。**
  思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ルームミラーに物をかけたり、ガラスクリーナーを使用したりしない。**
  センサーⒸの感度が低下し、作動不良の原因となる場合があります。

ドアミラー

ドアミラーの注意事項

⚠ 警告

- **ミラーの調節は、必ず走行前に行う。**
  走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **ミラーが動いているときは手を触れない。**
  手を挟む、またはミラーが故障するおそれがあります。
- **ミラーを格納したまま走行しない。**
  後方確認ができないため危険です。

窓ガラスの開閉

パワーウインドー

パワーウインドーの注意事項

⚠ 警告

- **乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守る。**
  — 走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながったりするおそれがあります。
  — 窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
  — お子さまにはパワーウインドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウインドーロックスイッチを押し込んでください。
  — 窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。
  — 車から離れるときはキースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、キーとお子さまを車室内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **指などを挟まれないように注意する。**
  窓ガラスには挟み込み防止機構がありますが、窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

挟み込み防止機構

⚠ 警告

- **窓ガラスを閉める前に乗員の手や顔などが窓から出ていないことを確認する。**
  挟み込み防止機構を解除すると、自動開作動と挟み込み防止機構が作動しません。確認せずに窓ガラスを閉めると重大な傷害につながるおそれがあります。

燃料補給口の開閉

燃料補給口

開けかた、閉めかた

⚠ 警告

- **キャップは確実に閉める。**
  閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- **日産純正品以外のキャップは使用しない。**

燃料補給時の注意事項

⚠ 警告

- **燃料補給時は、次のことを必ず守る。**
  — エンジンを止める
  — 車のドアや窓を閉める
  — タバコなどの火気を近づけない
  — 気化した燃料を吸わない

- **補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去する。**
  放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- **補給作業はひとりで行う。**
  作業中に車室内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- **キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外す。**
  急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- **給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。**
  給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- **給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしない。**
  継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- **ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守る。**

エアコンの操作

エアコンを使うときに注意すること

エアコンに関する注意事項

⚠ 注意

- **A/C スイッチOFF時に内気循環で長時間使用しない。**
  窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険なため、一時的にご使用ください。
- **吹き出し風を長時間連続して身体に当てない。**
  特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間当たらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- **デフロスタースイッチをONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。**
  フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

オーディオ

オーディオの使いかた★

安全運転のために

⚠ 警告

- **走行中のオーディオ操作は、絶対にしない。**
  前方不注意となるおそれがあります。
- **音量を大きくしない。**
  大きすぎると車外の状況がわからないため、思わぬ事故の原因となります。

アンテナについて

⚠ 注意

- **アンテナの調節や脱着時は、周囲の安全を十分に確認してから行う。**

始動する

エンジンスイッチ（インテリジェントキー付車）

⚠ 警告

- **エンジンを始動する前にペダルの位置を確認する。**
  ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- **換気の悪い場所では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。**
  排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **エンジンを始動するときは、必ず運転席に座る。**
  運転席以外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行う。**
  スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジン停止のしかた

⚠ 警告

- **電源ポジションをOFFにするときは、パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーがPであることを確認する。**
  車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンの非常停止のしかた

⚠ 警告

- **非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。**
  非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

キースイッチ（リモートコントロールエントリーシステム付車）

エンジンの始動のしかた

⚠ 警告

- **エンジンを始動する前にペダルの位置を確認する。**
  ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- **換気の悪い場所では、暖機運転をしたりエンジンをかけたままにしたりしない。**
  排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **エンジンを始動するときは、必ず運転席に座る。**
  運転席以外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行う。**
  スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

キースイッチの位置について

⚠ 注意

- **変形したキー、または純正品以外を使用しない。**
  始動時にキーがSTART位置から戻らなくなり、車両故障やモーターの過熱による火災につながるおそれがあります。

運転する

セレクトレバー

セレクトレバーの操作

⚠ 警告

- **次のような操作は、絶対に行わない。**
  トランスアクスルを破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - 車が完全に停止する前にPに入れる
  - 車を前進させているときにRに入れる
  - 車を後退させているときにD、Lに入れる
- **セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行う。**
  スターターモーターが回転する前にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ★

パーキングブレーキのかけかた

⚠ 警告

- **パーキングブレーキをかけたまま走行しない。**

ブレーキが過熱することによって、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

電動パーキングブレーキ★

電動パーキングブレーキに関する注意事項

⚠ 警告

- **車両を離れるときは、電動パーキングブレーキをかけたあと、セレクトレバーをP位置に切り替える。**
- **非常時以外は、電動パーキングブレーキを作動させたまま走行しない。**
  ブレーキに不具合が生じ、事故につながるおそれがあります。
- **電動パーキングブレーキをかけたり、解除したりの操作を短時間に繰り返さない。**
  システムの過熱を防ぐために電動パーキングブレーキが作動しなくなる場合があります。作動しなくなった場合は、約1分間経過してから再度操作してください。

オートブレーキホールド★

オートブレーキホールド機能使用時の注意事項

⚠ 警告

- **急な坂道や滑りやすい路面で使用しない。**
  オートブレーキホールド機能が作動していても、車両が動き出すおそれがあります。
  急な坂道などでオートブレーキホールド機能を作動させたとき、運転者にブレーキペダルを踏むよう警告メッセージが表示されることがあります。
- **オートブレーキホールド機能が作動していても停止状態を維持できないときは、ブレーキを使用して車両を停車させる。**
  ブレーキ力保持状態のときに外的要因で車両が動くと、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されることがあります。
  警告メッセージ（➲WEB）
- **次の場合はオートブレーキホールド機能をOFFにする。**
  — 洗車機を使用するとき
  — 車両にけん引されるとき
  — 車両のけん引時
  — 過積載のとき
- **次の場合はセレクトレバーをPにしてパーキングブレーキが確実にかかっているか確認する。**
  車両が不意に動き出し重大な傷害や事故を起こすおそれがあります。
  — 駐車するとき
  — 人が乗降するとき
  — 荷物の積み下ろしをするとき
- **VDC警告灯（➲WEB）、ブレーキシステム警告灯（黄色表示）（➲WEB）、電動パーキングブレーキ警告灯（➲WEB）、またはマスターウォーニング（➲WEB）が点灯し、「シャシー制御表示」の警告メッセージ（➲WEB）が表示されたときは、オートブレーキホールド機能は作動しません。**
- **オートブレーキホールド機能をOFFにする際は、ブレーキペダルを踏みながらオートブレーキホールドスイッチを押す。**
  急な坂道では、オートブレーキホールド機能での停止状態からアクセルペダルを踏んでもオートブレーキホールド機能が解除できない場合があります。
- **ブレーキペダルから足を離す前に、オートブレーキホールド表示灯（緑色）が点灯していることを確認する。**

⚠ 注意

- **オートブレーキホールド機能によってブレーキ力が保持されているときに、オートブレーキホールド機能をOFFにするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。**
  ブレーキが解除され車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **車両が停止してもブレーキ保持が開始されないときは、オートブレーキホールド表示灯（緑色）が点灯するまでブレーキペダルを踏み込む。**
  ブレーキペダルが十分な力で踏まれていない、もしくは、車両停止後にブレーキペダルを離すのが早すぎると、オートブレーキホールド表示灯（緑色）は点灯しません。

発進

発進するときの注意事項

⚠ 警告

- **発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。**
  急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。
- **停車中、セレクトレバーが、P、N以外に入っているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。**
  クリープ現象により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。

走行のしかた

⚠ 警告

- **下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用する。**
  ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危

険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。

- **滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせない。**
タイヤがスリップするおそれがあり危険です。
- **走行中はセレクトレバーをNに切り替えない。**
エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

停車・駐車

停車・駐車のしかた

⚠ 警告

- **駐車するときは、ガスライターなどに注意する。**
操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。
- **停車中の空ぶかしはしない。**
万一、セレクトレバーがP、N以外に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後に再発進するときは、セレクトレバーの位置を目で確認してください。
- **換気の悪い場所では、エンジンをかけたままにしない。**
排気ガスが車両周辺に滞留したり、車室内に侵入したりすることで、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。一酸化炭素を吸い込むと、意識が薄れて事故につながるおそれがあるほか、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
- **車から離れるときは、必ずセレクトレバーの位置をPにして、エンジンを停止する。**
エンジンがかかったままで、セレクトレバーがP、N以外だと、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **坂道などでセレクトレバーをD、またはL、Rに入れたまま惰性での後退をしたり、に入れたまま惰性での前進をしない。**
エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなります。また、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐停車しない。**
排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- **長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるため注意する。**
- **エアコン使用時はエンジン回転数が変動するため、クリープ現象が断続的に強くなることがあるので注意する。**
ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ

ハイビームアシストの注意事項

⚠ 警告

- **システムを過信しない。**
常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- **次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替える。**
  - 悪天候のとき（雨、霧、雪など）
  - 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
  - カメラ前方のフロントガラスがくもっていたり、汚れなどが付着したりしているとき
  - カメラの向きがずれているとき
  - 周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
  - 対向車または先行車が無灯火のとき
  - 対向車のヘッドランプが破損または汚れていたり、光軸がずれているとき
  - 自転車やバイクなど、ライトの明るさや大きさが十分でないとき
  - 歩行者など光を発しないもののとき
  - 明るさの急激な変化が連続しているとき
  - 段差や起伏のある道路を走行しているとき
  - カーブが多い道路を走行しているとき
  - ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
  - トレーラーやコンテナなど先行車の後部の反射が強いとき
  - パンクやけん引などで車両が傾いているとき

ワイパー・ウォッシャースイッチ

ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項

⚠ 警告

- **寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、**

ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。
寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転支援機能

アイドリングストップ

アイドリングストップの使いかた

⚠ 警告

- **アイドリングストップ中に車両が動き出したときは、すみやかにブレーキペダルを踏む。**
  エンジンが再始動するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **エンジンルーム内の作業をするときは、電源ポジションをOFFにする。**
  エンジンが再始動したときに手、衣服、工具などを入れていると思わぬケガをするおそれがあります。

スマートシンプルハイブリッド★

バッテリーについて

⚠ 警告

- **バッテリーの端子を外した状態で走行しない。**
  車両の各システムが正常に機能せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4WD（4輪駆動）車★の扱いかた

走行のしかた

■ 雪道など舗装路以外を走行するとき

⚠ 警告

- **急加速や急ハンドル、急ブレーキなどはしない。**
  タイヤがスリップしたり、横滑りや尻振りなどをおこし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABSについて

⚠ 警告

- **カーブの手前では十分に減速する。**
  ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。
- **でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、特に速度を控え、車間距離を十分にとる。**
  ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、砂利道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を抑え、車間距離を十分にとって運転してください。
- **タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。**
  ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCに関する注意事項

⚠ 警告

- **滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。**
  この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。
- **次の場合、VDC警告灯 が点灯し正常に作動しないことがあるため注意する。**
  — サスペンション、タイヤ、ブレーキなどを純正品以外に交換したり、改造したとき
  — サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- **VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。**

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストについて

⚠ 警告

- **ヒルスタートアシストの機能を過信しない。**
  凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転を心がけてください。

緩やかな坂道ではヒルスタートアシストが作動せず後退する場合があります。その際はブレーキペダルを踏むか、パーキングブレーキをかけてください。

- **停車するときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ブレーキペダルを踏み続ける。**
  この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にセレクトレバーを**P**に入れ、パーキングブレーキをかけてください。

プロパイロット★

システムに関連する表示とスイッチ

⚠ 警告

- **高速道路や自動車専用道路で使用する。**
  プロパイロットは、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- **プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がける。**
  自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行するとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマーカーに近づくことがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作し、常に安全運転を心がけてください。
  レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。
- **手放し運転を行うことはできない。**
  運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。
- **停止中の車両には反応しない。**
  料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては減速しません。十分注意してください。

インテリジェント クルーズコントロールの作動

⚠ 警告

- **運転者は周囲の状況に注意し、必要に応じてブレーキペダルを操作する。**
  車速･車間制御機能で停止した後、前方に車両が割り込んできた場合、位置や車両の向きによっては検出することができず、先行車が発進すると自車も動きだし割り込んできた車両に接近するおそれがあります。

インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた

⚠ 警告

- **車から離れるときは、必ずプロパイロットスイッチ㊀を押して、プロパイロットを OFFにし、セレクトレバーを**P**に入れ、エンジンを停止する。**

手放し警告について

⚠ 警告

- **手放し運転を行うことはできません。**
  運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

プロパイロットに関する注意事項

⚠ 警告

- **プロパイロットは脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。**
  先行車との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転を心がけてください。
- **プロパイロットの性能には限界があります。次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、プロパイロットを使用しないでください。**
  - 急カーブや曲がりくねった道
    プロパイロットは直線路や緩やかなカーブ路での使用を想定して設計しているため、車線中央付近を維持できなくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - 急勾配の坂道
    停止状態を保持できず、車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - 急な下り坂
    設定車速を超えてしまうおそれがあります。また先行車がいる場合は、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。
  - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
    タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
  - 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況
    ブレーキ作動が遅れて車間距離が短くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - 道路構造物（壁、ガードレール、ポール、縁石など）と、レーンマーカーが極端に近い道
    道路構造物に接近し思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **次のような状況では先行車との車間距離が正確に検出できない、またはレーンマーカーが検出できない場合があり、適切に制御できず、思わぬ事故につながるおそれがありますのでプロパイロットを使用しないでください。**
  - 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  - 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
  - カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
  - 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
  - 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  - 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
  - トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  - 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
  - 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
  - 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行するとき
  - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
  - 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
  - オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- **次のような状況ではプロパイロットは正しく機能しません。プロパイロットを使用しないでください。**
  - タイヤの空気圧が適正ではないとき
  - 摩耗しているタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
  - 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
  - カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
  - 極端に重い荷物を積んでいるとき
  - けん引しているとき
- **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**

定速制御機能について

⚠ 警告

- **定速制御機能を使用するときは、十分な車間距離をとる。**
  定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。
- **次の状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使用しない。**
  - 交通量の多い道や急カーブのある道
  - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
  - 急な下り坂

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

システムに関連する表示

⚠ 警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者、人が乗車している自転車との衝突回避操作の支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。
  必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

システムに関する表示

⚠ 警告

- **インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は前方を走行する2台前の車両の急な減速などを検知したとき運転者に警報を行いますが、衝突を回避する機能はありません。**
- **インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。**
  前方の車両との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）に関する注意事項

⚠ 警告

- **次のような障害物は検知しません。**
  - 歩行者、自転車、動物、道路上に落ちている障害物
  - 対向車両
  - 前方を横切って通過する車両
- **次のような場合は、前方の2台前の車両を検知できないことがあります。**
  - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき

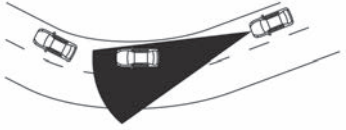
― 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
― 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
― 放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
― トンネル内を走行しているとき
― 前方の車両がけん引を行っているとき



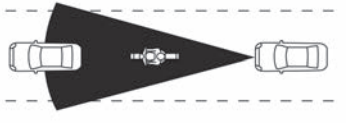
― 前方の車両との距離が極端に近いとき



― 急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき



● **前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のときは、前方の車両を検知できず、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は警報を行わないことがあります。**



● **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**

踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項

⚠ 警告

● **次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。**
― けん引するとき
― トレーラーなどに積載するとき
― 点検などでシャシーダイナモを使用するとき
― 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
（車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります）
― センサーを妨げるようなバイクラックなどを装着しているとき

● **ソナーは次のような障害物は検知しません。**
― 背の低い障害物
― 幅の狭い障害物
― 針金、金網、ロープなどの細い障害物
― バンパーに非常に近い障害物
― 急に進行方向に現れた障害物

● **ソナーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。**
― 地面から高い位置に存在する障害物
― 周囲で大きな音が鳴っているとき
― 周囲に超音波を発するものがあるとき
― スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物

● **ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。**
― 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
― 周囲で大きな音が鳴っているとき
― 周囲に超音波を発するものがあるとき
― 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき

● **ソナーは次のような場合は検知することがあります。**
― 周囲に草が生い茂っているとき
― 車両側面の近くに壁があるとき
― 路面上に段差や突起物があるとき
― 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
― 車両周辺に雪のかたまりがあるとき

— 車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
— 他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
— 背が高く上部が張り出しているものがあるとき
— 高さのある縁石や車止めがあるとき

● **マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。**
— 子供などの背の低い人、動物、自転車
— 対向車両
— 道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）

● **マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。**
— バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
— 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
— 前方を横切って通過する車両
— 斜めもしくは前向きに止まっている車両

● **マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者を検知できないことがあります。**
— 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
— 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
— カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
— カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
— 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
— 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
— 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
— 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
— トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
— カーブを走行しているとき
— 勾配の変化があるところを走行しているとき
— 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
— 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
— 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
— 対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
— 始動してから約15秒間
— カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
— カメラの向きがずれているとき

● **マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**
— 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
— 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
— 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映りこむなど）
— 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
— 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

● **以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**
— 夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
— 車高の低い車両
— 最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
— 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
— 前方の至近距離に割り込んだ車両
— 前方の至近距離に飛び出してきた歩行者
— 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
— 後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
— リヤタイヤから車両後端までが長い車両
— 四輪車以外の車両（二輪車など）
— 荷台から荷物や幌がはみ出している車両

● **マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。**
— 複数の対象物同士が近接している場合
— 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合

● **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**

低速衝突軽減ブレーキ機能について

● **ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。**

● **車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏む。**
低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが解除され、車両が動き出します。

⚠ 注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

● **システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。**

車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。

- **アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。**

BSW（後側方車両検知警報）★

システムに関連する表示

⚠ 警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  BSW（後側方車両検知警報）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防いだりする機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。
- **レーダーセンサーには限界があるため、機能を過信しない。**
  道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

作動するとき・しないとき

⚠ 注意

- **車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認する。**
  自車両より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

BSW（後側方車両検知警報）に関する注意事項

⚠ 警告

- **次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。**
  - 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
  - 停車状態から検知範囲に居続ける車両
  - 後方から速い速度で接近してくる車両
  - 自車両が速い速度で追い越した車両
  - 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両
- **次のような状況では、隣の車線の車両を検知できないことがあります。**
  - 強い光（太陽光など）を受けているとき
  - 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
  - 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
  - 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
  - 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき

⚠ 注意

- **レーダーセンサーは次のような障害物は検知しません。**
  - 歩行者、自転車、動物など
  - 対向車

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

システムに関連する表示とスイッチ

⚠ 警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転を心がけてください。
- **カメラには限界があるため、機能を過信しない。**
  道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）に関する注意事項

⚠ 警告

- **次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）を使用しないでください。**
  - 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
  - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
  - 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
  - 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
  - 車線の幅が狭い道路を走行するとき

— 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき
— 日産純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき

● **次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。**
— 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
— 急なカーブのある道路を走行するとき
— 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
— 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります）
— 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
— 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
— 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
— 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
— 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
— 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
— 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

RCTA（後退時車両検知警報）★

システムに関連する表示

⚠ 警告

● **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
RCTA（後退時車両検知警報）は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

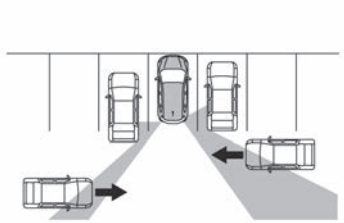
● **レーダーの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。**

RCTA（後退時車両検知警報）に関する注意事項

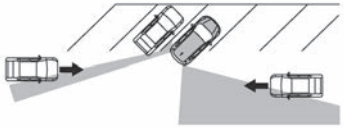
⚠ 警告

● **後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。**
— 歩行者、自転車、動物、児童用の玩具の車など
— 約30km/h以上の速度で通過する車両
— 約8km/h以下の速度で通過する車両

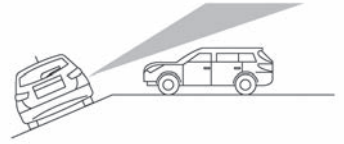
● **次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。**
— 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき



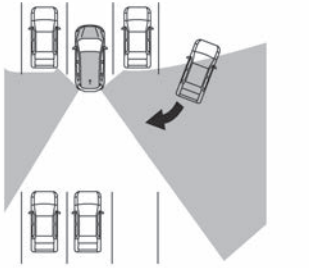
— 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



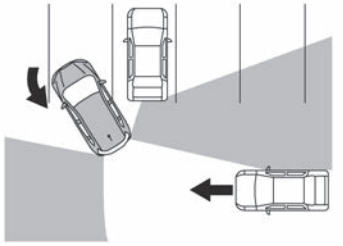
— 傾斜した地面に駐車しているとき



― 回り込むようにして自車後方へ車両が接近してきたとき



― 接近してきた車両の向きが、自車の向きと同じまたはそれに近いとき



- **次のような場合は、思わぬ事故につながるおそれがあるため、システムを使用しないでください。**
  ― 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
  ― 放送局・レーダー搭載車両など周辺の電波源により影響を受けているとき
  ― 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  ― 雪や氷、泥などがレーダーセンサー付近に付着しているとき
- **レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。**
- **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**
- **レーダーセンサー周辺へのステッカー（透明なものを含む）の貼り付け、アクセサリー類の取り付け、追加の塗装をしないでください。**
  車両を検知する性能が低下するおそれがあります。

インテリジェント DA（ふらつき警報）

システムに関連する表示

⚠ 警告

- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。**
  このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故にいたる危険があるため、運転前に十分に休憩をとり、安全運転を心がけてください。

標識検知機能

システムに関連する表示

⚠ 警告

- **走行中は運転者の責任で実際の標識を確認する。**
  標識検知機能は、運転者の安全運転を支援する機能です。
  標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。
  運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

標識検知機能に関する注意事項

⚠ 警告

- **次のような場合は、標識の検知が遅れたり、検知できなかったりすることがあります。**
  ― 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  ― カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界が遮られているとき
  ― カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
  ― 前方から強い光（太陽光や対向車のハイビームなど）を受けているとき
  ― 前方車両から反射した強い光（太陽光など）を受けているとき
  ― トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  ― 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  ― 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  ― 勾配の変化があるところを走行しているとき
  ― 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
  ― 隣を走る車で視界が遮られているとき
  ― 標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
  ― 標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
  ― 標識が自車から遠く離れた位置にあるとき
  ― 夜間で標識に自車のヘッドランプの光が届きにくい位置にあるとき
  ― 標識が色あせたり、折れ曲がったりしているとき

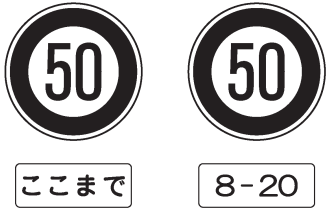
— 標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき
— 標識が泥、雪、または霜などで覆われているとき
— 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
— 標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき
— 標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
— 標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
— 標識が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき
— カメラの向きがずれているとき
— エンジンを始動してから約15秒間は標識を検知しません

● **次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識がないのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります）**
— 数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
— 検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物、案内標識上の数字など）
— 自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の一時停止標識や最高速度標識など）



— コントラストが低い電光標識
— 数字が認識しにくい電光標識（遠く離れた位置にある標識、3桁の標識など）
— 標識の近傍に補助標識（区間の始まり、終わり、曜日、時間など）があるとき
— 工事などの通行規制区間に標識があるとき

⚠ 注意



● **標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。**

先行車発進お知らせ

システムに関連する表示

⚠ 注意

● **先行車との車間距離や周囲の状況を目視で直接確認し、常に安全運転を心がけてください。**

カメラシステム

バックビューモニター★

バックビューモニターについて

⚠ 警告

● **バックビューモニターの機能を過信しない。**
バックビューモニターは、後退操作を補助するシステムです。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら運転してください。

● **実際の距離感を間違えないように注意する。**
バックビューモニターの映像はレンズの特性により、画面に映る人や障害物の感覚が実際の位置や距離と異なります。

バックビューモニターの注意事項★

映し出す範囲

⚠ 注意

● **バックビューモニターだけを見ながら後退しない。**
絶対に画面の映像だけを見ながら後退しないでください。映像と実際の状況は異なる

ことがあるため、車をぶつけたり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。後退するときは、後方や周囲の安全を目視やミラーなどで直接確認してください。

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

インテリジェント アラウンドビューモニターについて

⚠ 警告

- **インテリジェント アラウンドビューモニターの機能を過信しない。**
  インテリジェント アラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。
- **実際の距離感を間違えないように注意する。**
  インテリジェント アラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

インテリジェント アラウンドビューモニターの使いかた

⚠ 警告

- **ドアミラーを格納した状態で使用しない。**
  適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。

画面表示に関する注意事項

⚠ 警告

- **リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。**
- **ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせて処理した疑似的な映像のため、トップビューは障害物を実際より遠く映します。**
- **囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されなかったりすることがあります。**
- **カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。**
- **トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。**
- **路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。**

移動物 検知機能について

⚠ 注意

- **車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。**

ソナー機能について

⚠ 警告

- **バンパーにへこみなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。**
- **適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。**
- **日産純正品以外のバンパーを取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。**

⚠ 注意

- **気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。**
- **次のような障害物には作動しません。**
  - 背の低い障害物
  - 幅の狭い障害物
  - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
  - ソナーに非常に近い障害物
  - 急に進行方向に現れた障害物
- **次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。**
  - 地面から高い位置に存在する障害物
  - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- **ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。**
  - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサー部や周辺に付着しているとき
  - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
  - 周囲に草が生い茂っているとき
  - 車両側面の近くに壁があるとき
  - 路面上に段差や突起物があるとき
  - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
  - 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
  - 周囲で大きな音が鳴っているとき
  - 車両感応センサーやホーン、他車のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
  - 炎天下や寒冷時
  - 表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸な形状の場合）

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があったりしてもソナーが検知しないことがあります。（氷が解ければ、正常に復帰します）
- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

インテリジェント アラウンドビューモニター★に関する注意事項

⚠ 警告

- カメラの作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けないでください。字光式ナンバープレートやナンバープレートリムを装着すると、フロントビューおよびリヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。
- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。

収納装備

グローブボックス

グローブボックスの使いかた

⚠ 注意

- **グローブボックスを開けたまま走行しない。**
  ブレーキをかけたときに、収納した物が飛び出したり、ふたに当たったりするなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- **ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。**
  ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

インストスライドボックス

インストスライドボックスの使いかた

⚠ 注意

- **開けたまま走行しない。**
  収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

インストセンターロアボックス

インストセンターロアボックスの使いかた

⚠ 注意

- **開けたまま走行しない。**
  収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

カップホルダー／ボトルホルダー

前席シート用カップホルダーについて

⚠ 注意

- **トレイに3kg以上の物を載せない。**
  破損したり、物が落ちたりして思わぬケガをするおそれがあります。また、カップホルダーに熱い飲物を置いているときは、こぼれてやけどをするおそれがあります。

カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項

⚠ 警告

- **運転中に飲物を出し入れしない。**
  運転中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。
- **ビンなどの硬いものは入れない。**
  側面衝突などの事故のとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **熱い飲物を置かない。**
  熱い飲物をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、飛び散ったりして、乗員がやけどを負うおそれがあります。
- **飲物をこぼさないように注意する。**
  飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。
- **車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。**
  故障や火災のおそれがあります。

その他の室内装備

先進事故自動通報システム★

先進事故自動通報システムの使いかた

⚠ 警告

- **＜SOSコールスイッチ＞を押すときは、安全な場所に停車してから行う。**
  走行中に運転者がスイッチを押そうとすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **SOSコールは無線通信機能を利用しています。心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を使用している場合は、当該の医療用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波の影響について必ず確認してください。**

ヒーターシート★

ヒーターシートの使いかた

⚠ 注意

- **長時間の連続使用はしない。**
  低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- **硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。**

電源ソケット

電源ソケットの使いかた

⚠ 警告

- **電源ソケットを使うときは、次のことを守る。**
  電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。
  — 複数の電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんの機器を接続しないでください。
  — 消費電力120W以下のものを使ってください。
  — 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入してください。
  — 使用中や使用後はソケットやプラグの取り扱いに十分注意してください。
  — シガーライターをソケットに差し込まないでください。
  — ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしないでください。

USB電源ポート

USB電源ポートの使いかた

⚠ 警告

- **SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。**
  SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
  ➔WEB
- **USB電源ポートを使用するときは、次のことを守る。**
  USB電源ポートの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
  — 複数のUSB電源ポートを持つアダプターを使用して、一度にたくさんのモバイル機器を充電しない
  — 消費電力15W以下のものを使用する
  — ケーブルはしっかり奥まで挿入する
  — ポートに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
  — ポートの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない

⚠ 注意

- **モバイル機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定する。**
  運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアカーペット

固定のしかた

⚠ 警告

- **この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用する。**
  フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- **運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。**
  — 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない
  — フロアカーペットでペダルを覆わない
  — フロアカーペットを重ねて敷かない
  — 運転席専用のフロアカーペットを使用する
  — フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返しにしたりして使用しない
- **運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。**
- **運転に支障がないことを確認する。**
  運転する前、キースイッチ（電源ポジション）がOFFの状態で各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。
- **タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。**
  火災につながるおそれがあります。

アシストグリップ

アシストグリップの注意事項

⚠ 注意

- **アシストグリップに手をかけて乗り降りしない。**
  アシストグリップは、走行中などシートに座った状態で身体を支えるために使用してください。乗降用ではないため、手をかけて乗り降りしないでください。万一、アシストグリップが外れた場合は、思わぬケガをするおそれがあります。

MEMO

メンテナンス

メンテナンスの前に

点検整備について P.94

工具・ジャッキ

工具★・ジャッキ★について P.95

点検と整備

エンジンルーム P.98
ウォッシャー液の補給 P.100
寒冷時の取り扱い P.100
タイヤ P.101
冬用タイヤ・タイヤチェーン P.104
ワイパー P.104
キー（インテリジェントキー★）の電池交換 P.105
キー（リモートコントロールエントリーシステム★）の電池交換 P.106
バッテリー P.107
エンジンオイル P.108

清掃・お手入れ

外装のお手入れ P.109
内装のお手入れ P.113

サービスデータ

点検値 P.115
交換油脂類 P.115
車両仕様 P.118
イベントデータレコーダ（EDR） P.119
車両状態記録機能 P.120

点検整備について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。

点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

●**日常点検**
走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、におい、水漏れ、油漏れなど）

●**定期点検**
1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。

●**その他の点検**
新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。

📖 知識

● 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

車検、点検整備のとき

●車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。

工具★・ジャッキ★について

ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

車両の仕様変更または装備変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

工具、ジャッキ、タイヤ応急修理キットの格納場所

●工具・ジャッキ・タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納することができます。
➔WEB



⚠ 注意

● **工具、タイヤ応急修理キットを使ったあとは、元の場所に収納する。**
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

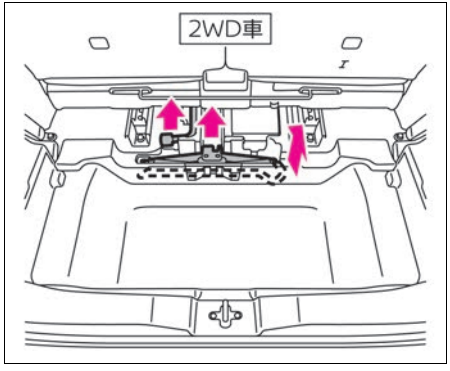
知識

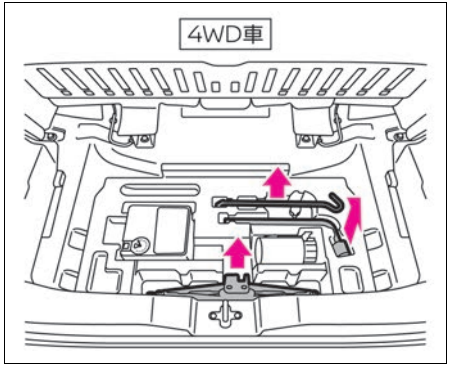
● 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

● 工具の種類や発炎筒（➔WEB）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

ジャッキ、ハンドル兼ホイールナットレンチ、ハンドルレバーの取り出しかた（ディーラーオプション）

●ラゲッジルームのラゲッジボード★を持ち上げて取り出します。
ラゲッジボード（➔WEB）





⚠ 注意

- **ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しない。**

アドバイス

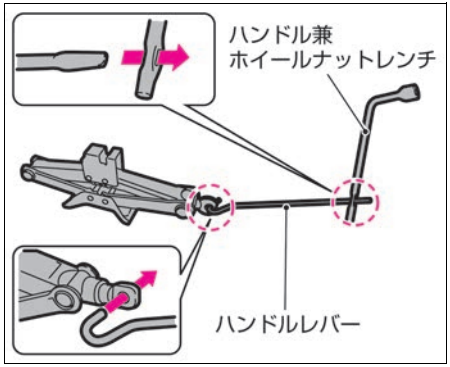
- ラゲッジボード付車は、ジャッキとラゲッジボードが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。

知識

- ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- ジャッキを取り出すときは、後席シートを車両前方へスライドさせてください。（2WD車）

ジャッキの使いかた

- ジャッキにハンドルレバーとハンドル兼ホイールナットレンチをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。



⚠ 警告

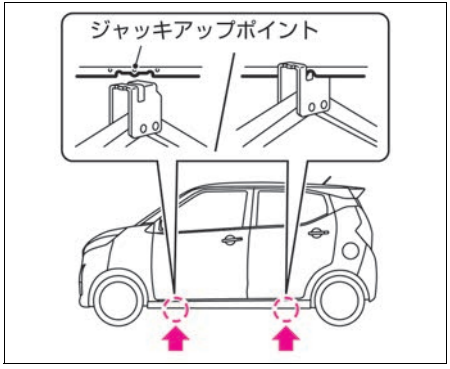
- **ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。**
  ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。

⚠ 注意

- **工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。**
  車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **ハンドル兼ホイールナットレンチを回すときは、ハンドルレバーをしっかり握って回す。**
  ハンドルレバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- **ハンドルレバーは、確実にハンドル兼ホイールナットレンチの穴に差し込む。**
  ハンドルレバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。
- **ジャッキアップ中はエンジンを始動しない。**
  車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

ジャッキアップポイント

- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。



⚠ 注意

- **ジャッキを使うときは、次のことを必ず守る。**
  — ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使用しないでください。また、この車両専用

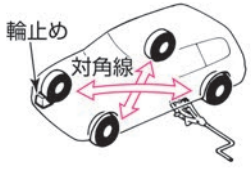
のジャッキは他車に使用しないでください。
— ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
— 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
— 使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
— 輪止めなどで車を固定してください。
— ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
— 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

アドバイス

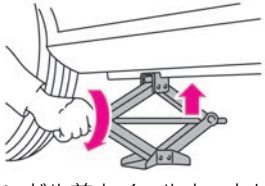
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

ジャッキアップのしかた

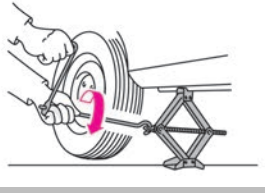
1. 交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。
WEB
2. ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



3. ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。
WEB



4. ハンドル兼ホイールナットレンチを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



注意

- **柔らかい地面の上ではジャッキアップしない。**
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- **やむをえず傾斜地で作業するときは、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。**

アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

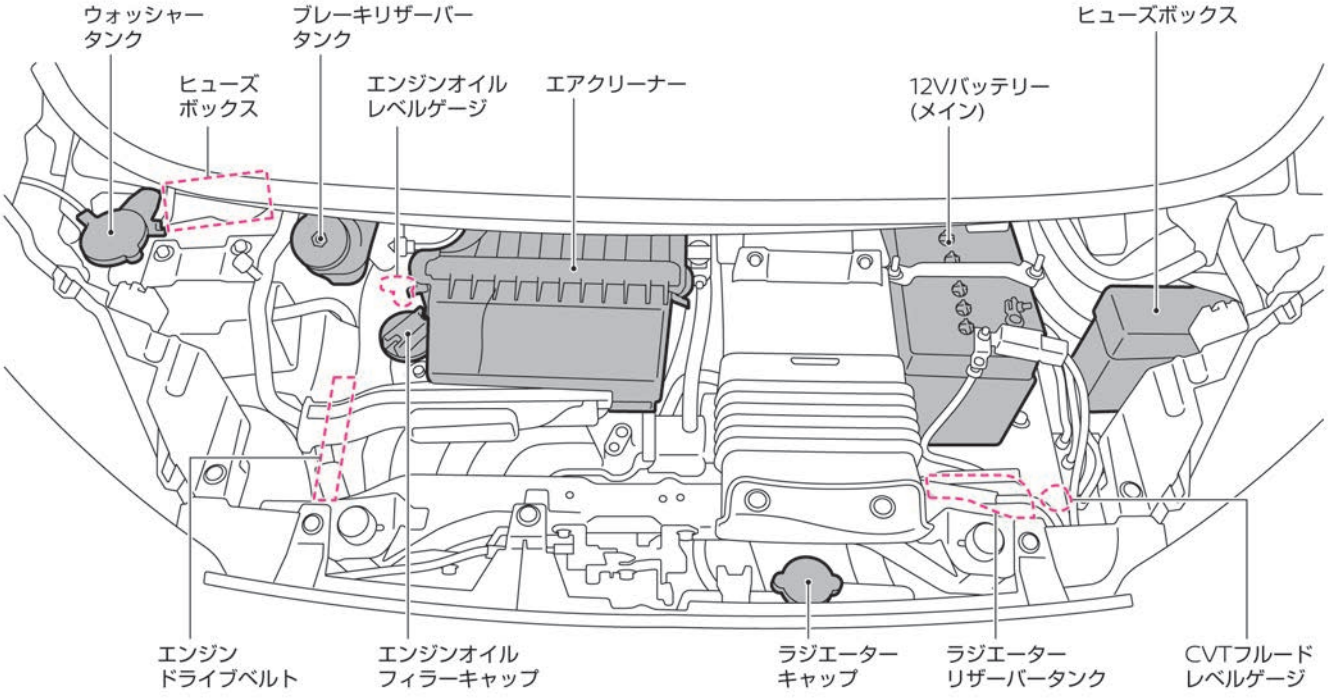
知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

エンジンルーム

エンジンルーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

エンジンルーム内の配置図



⚠ 警告

- **点検や整備に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れない。**
  故障や車両火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **エンジンルーム内の作業をするときは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにする。**
  エンジン回転中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

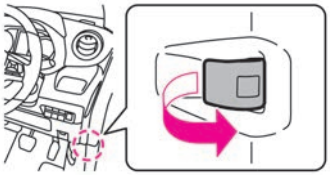
- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーが損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

知識

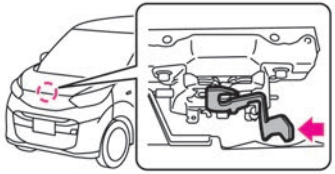
- 車種により部品形状が異なります。

ボンネットの開けかた、閉めかた

1. 運転席の右下にあるボンネットオープナーを引きます。
   ボンネットが少し浮き上がります。



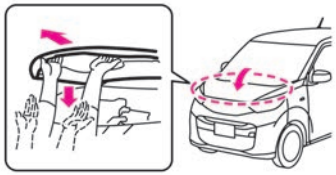
2. ボンネット先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらボンネットを持ち上げます。



3. ステーをフックから外し、ボンネット裏側の穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。



4. 閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットを20cm～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作してボンネットをもう一度持ち上げてから再度落としてください。ボンネットを上から押して閉めようとしないでください。



⚠ 警告

- **走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。**
  ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。**
- **ステーを持つときは、必ず操作部を持つ。**
  エンジン停止直後はステーが高温になることがあるため、やけどをするおそれがあります。
- **ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。**
- **ラジエーターなどの高温部には触れない。**
  やけどをするおそれがあります。
- **ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。**

アドバイス

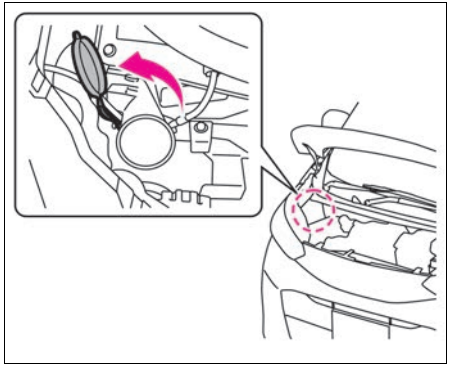
- ボンネットを閉めるときに、ボンネットに体重をかけて強い力で押すと、ボンネットがへこむおそれがあります。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

- ウォッシャー液が減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。



⚠ 注意

- **ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけない。**
  出火するおそれがあります。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。
- 日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。
  ➔WEB

寒冷時の取り扱い

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
50%	約-35℃

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。
  ➔WEB

アドバイス

- 冷却水は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ 12Vバッテリー（メイン）の液量、比重の点検

- 別冊のメンテナンスノートをお読みください。
  ➔WEB

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かしたりせず、凍った

部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。

- 寒冷時にドアミラーが正常に作動しない場合は、ドアミラー内部が凍結している可能性があります。無理に動かしたりせず、ドアミラー本体にぬるま湯をかけて凍結を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使用して、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品が破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。

⚠ 警告

- **ルーフに積もった雪は落とす。**
  窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷したりするおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。
- ドアミラーが凍結するような寒冷時は、ドアロック連動格納機能をOFFにしてください。凍結したまま作動を繰り返すと、故障の原因となります。

知識

- 外気温が低く、エンジン冷却水温が低いときは、暖房性能を確保するためエンジン回転数が上昇することがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
  ➔WEB

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- セレクトレバーを**P**にして、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
- 雪が積もりそうなときはアンテナを取り外してください。アンテナが破損するおそれがあります。
  アンテナの外しかた（➔WEB）

タイヤ

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。

日常的に点検を行ってください。

タイヤの点検項目

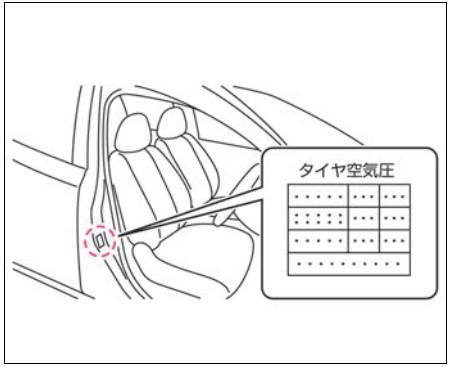
安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。

●タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあります。



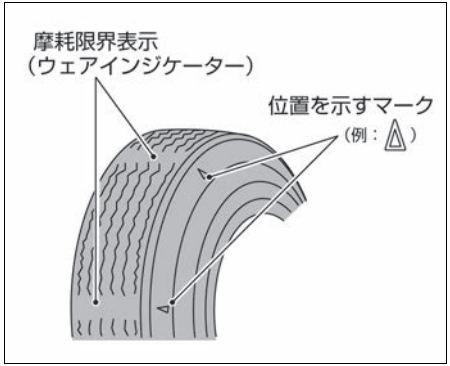
タイヤの亀裂・損傷の有無

●タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

●タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限界表示）が表れていないか点検してください。

●タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限界表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。



知識

- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割上がることがあります。

タイヤ・ロードホイールを交換するときは

●タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

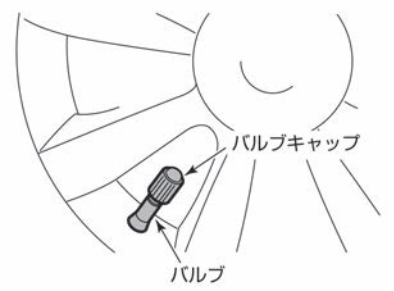
●タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。

●タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。

●ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。
ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

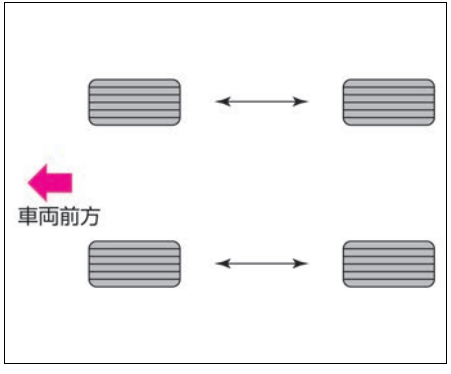
- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイール★には荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。



- バルブキャップは工具などを使用して締め付けると、破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、98N・m（10kg・m）です。

タイヤローテーションのしかた

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000kmごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

タイヤに関する注意事項

⚠ 警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。**
  気温や高度の変化により、タイヤの空気圧は変化します。タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **5〜7年を目安に必ず点検する。**
  タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。
- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けない。**
  不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付ける。**
  特に4WD車は、摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤを装着すると車の走行性能が悪化するおそれがあります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。回転差を吸収する機構に無理がかかり、過熱し火災につながるおそれがあります。
  — 摩耗差の大きいタイヤの装着
  — 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
  — サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- **著しく摩耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。**
  車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

⚠ 注意

- **タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。**
  ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにして作業してください。
- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。4WD車も前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバー★やアルミホイール★に傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパー

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

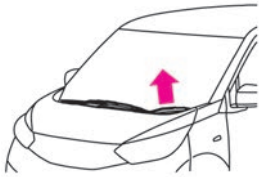
ワイパーブレードの交換のしかた

⚠ 注意

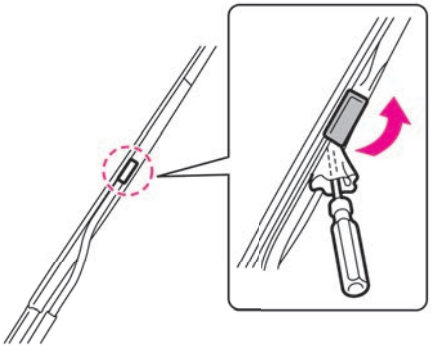
- **交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう注意する。**
  ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

- リヤワイパーブレードの点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。

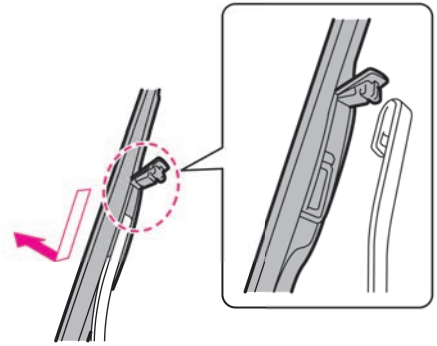
1. ワイパーアームを起こします。



2. 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、ストッパーを起こします。



3. ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。



4. 新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。

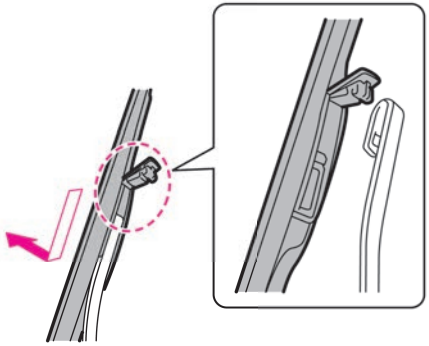
アドバイス

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気を付けてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。
- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

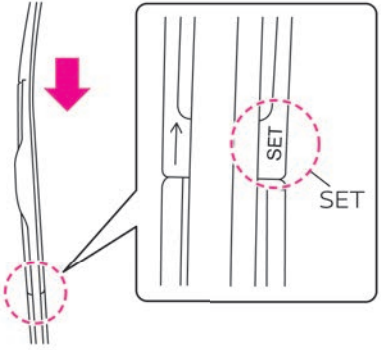
ワイパーゴムの交換のしかた

●ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

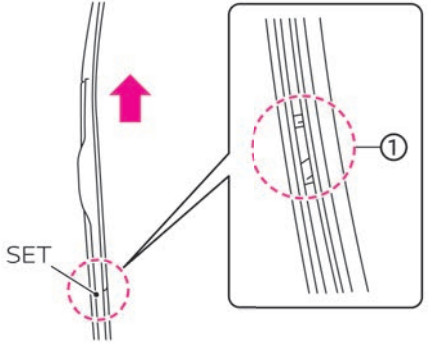
1. ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。



2. ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



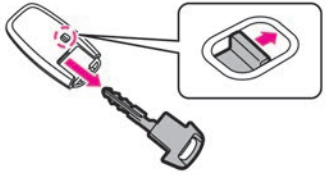
3. 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。
ワイパーゴムの①の部分をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。



キー（インテリジェントキー★）の電池交換

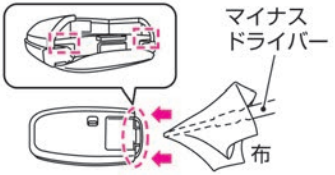
キーのスイッチを押しても作動しないときや作動表示灯（➔WEB）が点滅しないときは、電池の消耗が考えられます。次の手順に沿って、電池を交換してください。

1. キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。

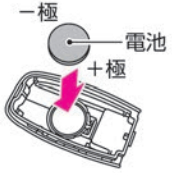


2. すき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。）

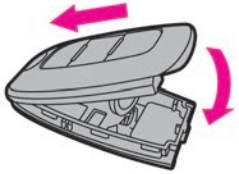
☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備　WEB：取扱説明書（電子）を参照願います



3. 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。）
使用電池：CR2032



4. カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。



⚠ 警告

- **電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。**
インテリジェントキーには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- **電池を飲み込んだり、体内に入れてしまった場合は、ただちに医師の診察を受ける。**

⚠ 注意

- **カバーがしっかりと閉まらない場合は、インテリジェントキーの使用を中止する。**
インテリジェントキーをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

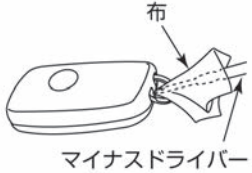
アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際は、必ず同じタイプの電池と交換してください。
- 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

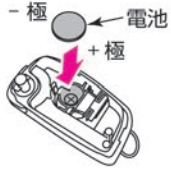
キー（リモートコントロールエントリーシステム★）の電池交換

リモコンのスイッチを押しても作動しないときや作動表示灯（➔WEB）が点滅しないときは、電池の消耗が考えられます。次の手順に沿って、電池を交換してください。

1. スリットにマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。）



2. 消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。）
使用電池：CR2032



3. カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。



⚠ 警告

- **電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。**
  リモートコントロールエントリーシステムキーには、ボタン電池が使用されています。誤って電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。
  新しい電池および取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- **電池を飲み込んだり、体内に入れてしまった場合は、ただちに医師の診察を受ける。**

⚠ 注意

- **カバーがしっかりと閉まらない場合は、リモートコントロールエントリーシステムキーの使用を中止する。**
  リモートコントロールエントリーシステムキーをお子さまの手の届かない場所に保管し、すみやかに日産販売会社にご連絡ください。

アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換の際は、必ず同じタイプの電池と交換してください。
- 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

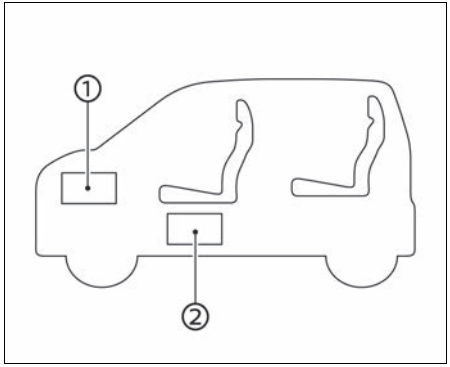
バッテリー

12Vバッテリー（メイン）のメンテナンスについては、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

詳しくは日産販売会社にご相談ください。

バッテリーの搭載位置

この車両には、2種類のバッテリーが搭載されています。



①12Vバッテリー（メイン）：エンジンルーム内
（エンジン始動・補機駆動用）
②リチウムイオンバッテリー（サブ）：運転席下
（アイドリングストップ再始動・補機駆動用★）

12Vバッテリー（メイン）に関する注意事項

⚠ 警告

- **12Vバッテリー（メイン）を充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけない。**
  12Vバッテリー（メイン）から発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだとき**

は多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **12Vバッテリー（メイン）の⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**
  接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリー（メイン）の端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- **12Vバッテリー（メイン）を交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**
  しっかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
  また、バッテリー液注入口キャップが図のように飛び出した形状のもの（凸タイプ）をご使用ください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- この車両は、充放電能力と寿命性能を強化した専用バッテリーをご使用ください。専用バッテリー以外を使用すると、12Vバッテリー（メイン）の早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

リチウムイオンバッテリー（サブ）に関する注意事項

⚠ 警告

- **取り扱いかたを誤ると火災、感電、故障の原因となるおそれがあるため、次のことを必ず守る。**
  — 水にぬらしたり、取り外しや分解をしたりしない
  — 強い衝撃を加えない
  — バッテリー端子を外したり、端子から電気製品の電源を取ったりしない
  — 火気を近づけない

アドバイス

- リチウムイオンバッテリー（サブ）は運転席下に搭載されています。運転席の下へ足を入れて大きな力を掛けたり、重い物を載せたりしないでください。

エンジンオイル

エンジンオイルの交換時期は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータ（➔WEB）をお読みください。

エンジンオイルに関する注意事項

⚠ 注意

- **オイルの点検後は、オイルレベルゲージを確実に差し込む。**
  オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが噴き出し火災の原因になるおそれがあります。
- **エンジンオイルフィラーキャップは確実に閉める。**
  走行時にキャップが外れてエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- 適切にオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。
  アンテナの外しかた（➔WEB）
- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
  - ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき
  - 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
  - ほこり、汚れがひどいとき

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

水洗いするときは

① 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
② 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
③ はん点が残らないように水をふき取ります。

アドバイス

- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。

洗車時の注意

⚠ 注意

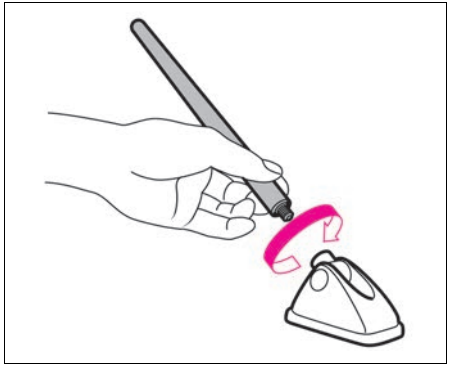
- **下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。**
- **エンジンルームを水で洗ったり、洗剤やワックスなどを直接スプレーしたりしない。**
  エンジンの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。
  水や洗剤、ワックスなどの製品、もしくはその他シリコンを含む製品を使用する場合は、布に塗布してからエンジンルームをふいてください。

洗車機を使うときは

- ルーフについているアンテナを外してください。
- ドアミラーを格納してください。
  ➔WEB
- 燃料補給口を完全に閉めてください。
  ➔WEB
- 高圧洗浄機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。

アンテナの外しかた

- アンテナを取り外すときは、アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。
- 取り付けるときは、アンテナの根元を持ち、矢印と逆方向に回し、確実に締め付けます。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めたりすることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。

ワックスをかけるときは

●ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。

② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

●コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラのレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

アルミホイール★のお手入れ

●中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけたりするおそれがあるため、次のことをお守りください。
  - ― 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
  - ― 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
  - ― 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
  - ― 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

軽い補修のしかた

●フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺以外は、塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。
サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

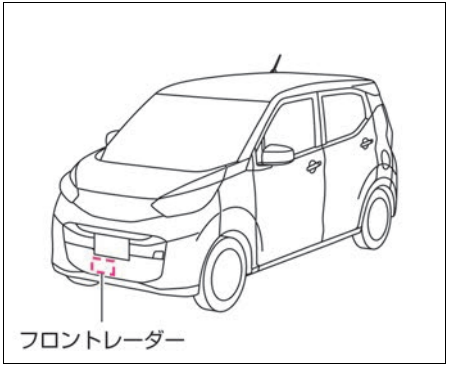
●フロントバンパー、リヤバンパーのレーダーセンサー周辺はタッチアップペイント含め塗装修理はできません。塗装する場合は日産販売会社にご相談ください。
➔WEB

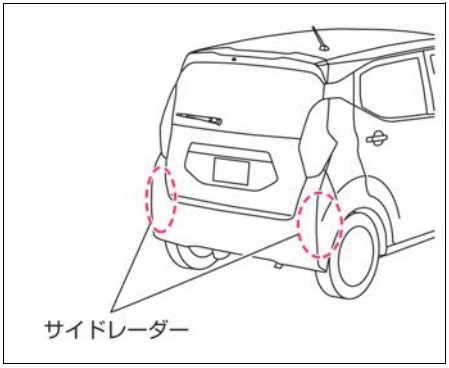
レーダーセンサーの取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

●以下の状態の場合レーダーセンサーの性能が発揮できない可能性があります。取り付けた部品の除去、洗車、修理、もしくはバンパー交換を推奨します。
  - ― レーダーセンサー周辺へのステッカー貼り付け、後付け部品の取り付け
  - ― お客さまの手による補修
  - ― レーダーセンサー周辺の傷つき、鳥糞、虫、泥などの付着
  - ― 衝突などでレーダーセンサー周辺を破損したとき

●フロントバンパー、リヤバンパーを改造、脱着したり、塗装したりしないでください。塗装する場合は日産販売会社にご相談ください。





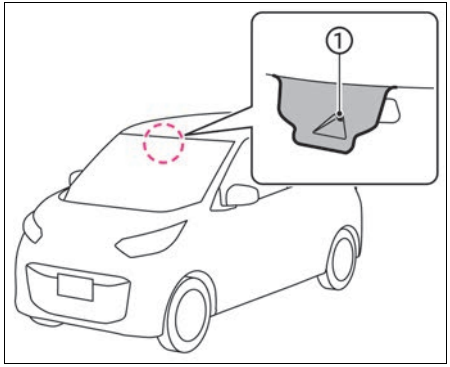
アドバイス

- フロントレーダー周辺に雪や氷、泥などが付着している場合は、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。
  フロントレーダーシステム停止警告（WEB）
  システム故障警告（WEB）
- フロントレーダー周辺の遮蔽物を取り除いて走行すると、システムの作動は再開します。再開しない場合は日産販売会社にご連絡ください。

マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

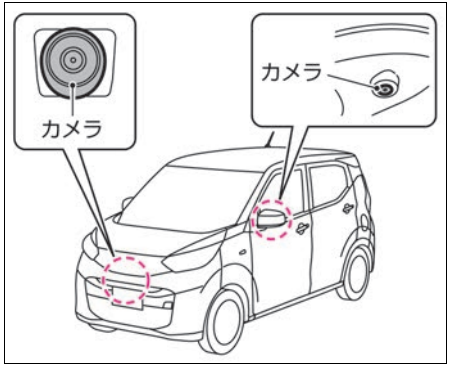
- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
  中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラ①を取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。



フロントビュー★／サイドビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ周辺部に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
  カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

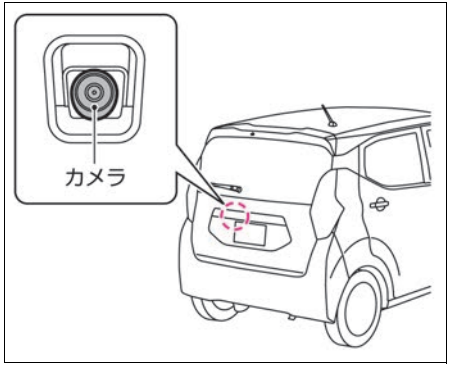
アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、濡れた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

リヤビューカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
  中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- 光が反射するため、ナンバープレートのアクセサリーを取り付けないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
  カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

アドバイス

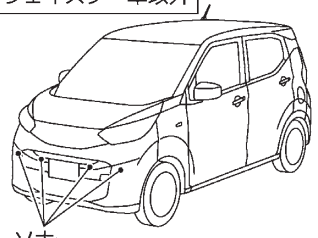
- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、濡れた柔らかい布でふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像への影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

ソナーの取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

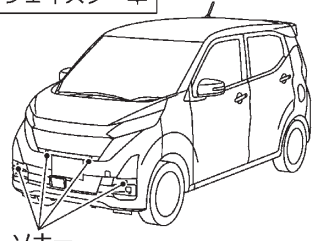
- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
  汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- 強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、ソナーから十分に離して使用してください。ソナーを損傷するおそれがあります。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。

ハイウェイスター車以外

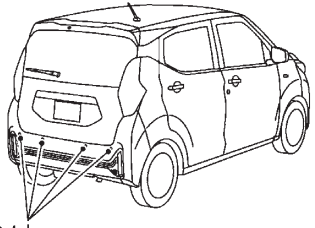


ソナー

ハイウェイスター車



ソナー



ソナー

内装のお手入れ

内装のお手入れについて

アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- オーディオ★やスイッチ類などの電装品、ブレーキペダル周りにシリコーン（シリコン）を含むケミカル用品（スプレー、グリース、オイルなど）を使用しないでください。電装品の故障につながるおそれがあります。
- 消臭剤・芳香剤、化粧品・日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤・芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。
- 塩素系（二酸化塩素や次亜塩素酸）の洗浄液を使用しないでください。塗装はがれやサビなどの原因となるおそれがあります。やむをえず洗浄（除菌）する場合は、エタノール75%以下をご使用ください。エタノールを乾いた布に含ませ、内装部品をふいてください。エタノールがなくなるまでふき取ってください。ふき残しがあると塗装はがれや色落ちなどの原因となるおそれがあります。エタノールは、引火性ですので、火気に注意してください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

WEB

布、合成皮革の汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

IRカット&スーパーUVカット断熱グリーンガラス★のお手入れ

フロントドアガラスの内側にはIRカット&UVカットコーティングがされています。

●フロントドアガラスの内側を清掃するときは、水または温水を含ませた柔らかいきれいな布で早めに汚れをふき取ってください。

アドバイス

- IRカット&UVカットコーティングの傷つきや劣化を防ぐため、次のことをお守りください。
  - フロントドアガラスの汚れがひどいときは、なるべく窓ガラスの開閉を行わない。
  - 清掃するときはコンパウンド（研磨剤）入りのガラスクリーナー、アルカリ性洗剤は使用しない。
  - 砂などが付着している布で清掃をしない。

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

●塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。
硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。

アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色したりする原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

ガラスの汚れ取り

●バックドアガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。

●ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。

●ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線★を切らないように、水を含ませた柔らかい布で軽くふいてください。

サービスデータ

点検値

項目		点検値
補機ベルト		調整不要 ※1
ブレーキペダル ※2	遊び	3～11mm
	床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約490N（50kg）で踏んだとき	85mm以上
パーキングブレーキ★ （足踏み式）	踏みしろ 約196N（20kg）で踏んだとき	4～5ノッチ

※1：スマートシンプルハイブリッド付車の補機ベルトは、ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）とストレッチベルト（張力調整無し）を採用しており、スマートシンプルハイブリッド無車の補機ベルトはストレッチベルト（張力調整無し）を採用しているため、ベルトの張力調整は不要です。また、電動パワーステアリングおよび冷却ファンは、ベルト駆動ではないためベルトの張力調整は不要です。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

※2：ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの床板とのすき間の調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。記載の規定量は目安です。実際の量とは異なることがあります。交換時期については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

エンジンオイル

項目	適用		規定量（ℓ）	指定銘柄
エンジンオイル	BR06DE （ターボ無車）	オイルのみ交換	2.8	日産純正ストロングセーブ・X GLV-1 0W-8 ※ （JASO：GLV-1、SAE：0W-8）
		オイルとオイルフィルター交換	3.0	
	BR06DET （ターボ付車）	オイルのみ交換	2.8	日産純正SPストロングセーブ・X 0W-16 （API：SP、SAE：0W-16）
		オイルとオイルフィルター交換	3.0	

※：添加剤をエンジンオイルに使用しないことをおすすめします。

☆／★：車両型式、オプションなどで異なる装備　WEB：取扱説明書（電子）を参照願います

■ 指定銘柄以外のエンジンオイルについて

粘度（SAE規格）およびグレードは下記のものをご使用ください。

エンジン	粘度（SAE規格）	グレード
BR06DE（ターボ無車）	0W-8	JASO規格 GLV1マークのついたものをお使いください。  JASO M 364適合品
	0W-16	API規格SPをお使いください。 ILSACマークのついたものをおすすめします。  APIマーク  ILSACマーク
BR06DET（ターボ付車）	0W-20	API規格SPをお使いください。 ILSACマークのついたものをおすすめします。  APIマーク  ILSACマーク

エンジン冷却水

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
全車	4.0※1	日産純正スーパーロングライフクーラント※2

※1：リザーバータンクの容量を含みます。

※2：市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

CVTフルード

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
全車	5.8	日産純正CVTフルードNS-3※

※：CVTフルードは、専用のCVTフルードNS-3を必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、CVTが破損するおそれがあります。

リヤディファレンシャルオイル

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
4WD	0.8	ダイヤクイーンスーパーハイポイドギヤオイル SAE90（GL-5）

トランスファーオイル

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
4WD	0.39	日産純正デフオイルハイポイドスーパーS （API：GL-5、SAE：75W-90）

ブレーキフルード

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
全車	–	純正ダイヤクイーンブレーキフルードスーパー4（DOT4）

ウォッシャー液

適用	規定量（ℓ）	指定銘柄
全車	1.5	日産純正ウインドウォッシャー液※

※：外気温に応じて濃度を調節してください。

車両仕様

電球（バルブ）の容量

ハイウェイスター車			
電球		容量（V-W）	電球のタイプ
番号灯		12-5	W5W※
尾灯		12-5	W5W
後退灯		12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	後面	12-21（アンバー）	WY21W

ハイウェイスター車以外				
電球			容量（V-W）	電球のタイプ
前照灯（ヘッドランプ）	ハロゲンヘッドランプ付車	ハイビーム／ロービーム	12-60/55	H19
車幅灯	ハロゲンヘッドランプ付車		12-5	W5W
番号灯			12-5	W5W※
尾灯			12-5	W5W
後退灯			12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面		12-21（アンバー）	WY21W
	側面（フェンダータイプ）		–※（灯体交換）	
	後面		12-21（アンバー）	WY21W

※：電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

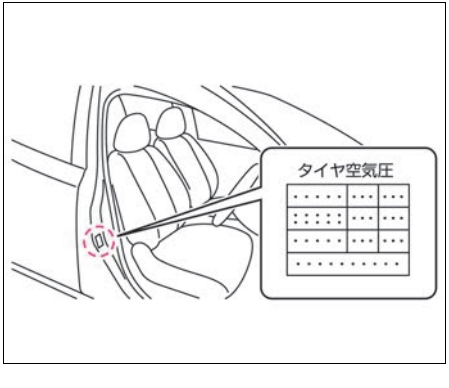
次の外装ランプはLEDです。LEDが一部でも点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

- **ロービーム（LEDヘッドランプ付車）**
- **ハイビーム（LEDヘッドランプ付車）**
- **フォグランプ★**
- **車幅灯（LEDヘッドランプ付車）**
- **制動灯**
- **ハイマウントストップランプ**
- **方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面／ドアミラータイプ）**

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D	インセット
155/65R14 75S	14×4.5J	100mm（4穴）	46mm
165/55R15 75V	15×4.5J		

タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



イベントデータレコーダ（EDR）

車両データの記録・蓄積について

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

知識

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声は記録しません。
- 氏名、性別、年齢などの個人情報は記録しません。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したとき、もしくは一定以上の衝突が発生した場合に下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報
- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 車速、エンジン回転数などの車両情報

■ プロパイロットシステム★

プロパイロットシステムは下記車両データを記録・蓄積します。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 先行車やレーンマーカーなどの検知状況
- 車速などの車両情報
- プロパイロットの作動に関する情報
- プロパイロットの故障診断情報
- マルチセンシングフロントカメラの画像情報（SRSエアバッグ、インテリジェント エマージェンシーブレーキ作動時）

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態記録機能

車両状態の記録・蓄積について

車両状態記録機能は、下記車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報

車両状態記録機能

車両状態記録機能は品質維持を目的として、車両の運行状態を記録・蓄積します。

車両状態記録機能から得られたデータを元に的確なサービスを提供することができます。

📖 知識

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの取り扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、車両状態記録機能に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合